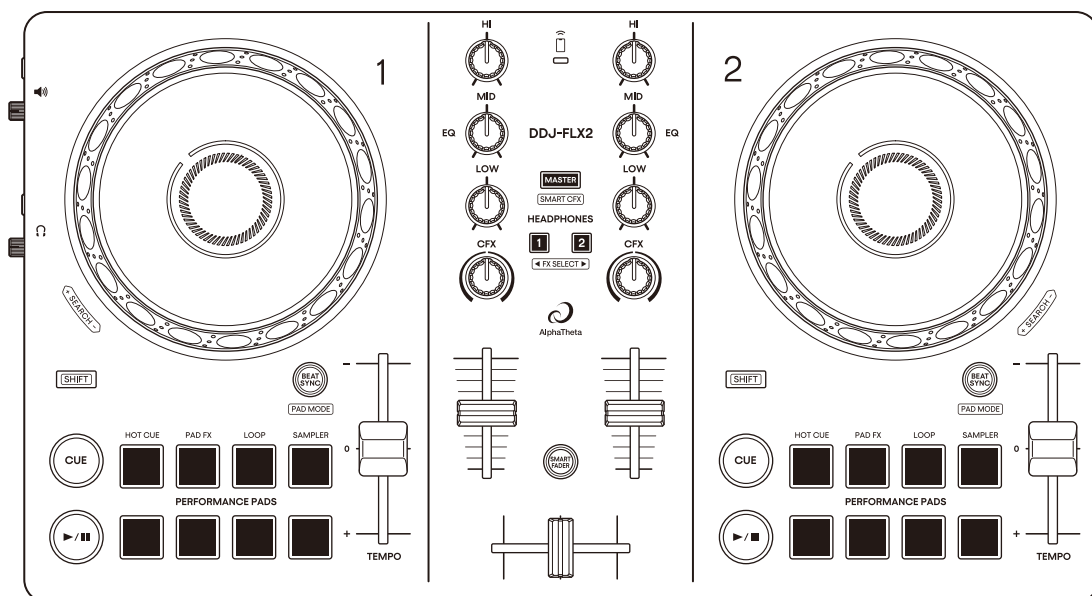


取扱説明書



DJコントローラー

DDJ-FLX2

alphatheta.com/support/Japan/

rekordbox.com

algoriddim.com

serato.com

上記のサイトで、本製品の最新のソフトウェア情報やFAQなどのサポート情報をご覧いただけます。

本書の見かた

- このたびは、AlphaTheta製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本書と本機に付属している「クイックスタートガイド」および「使用上のご注意」を必ずお読みください。すべて、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。

- 本書では、製品本体、PC/Mac画面、およびモバイルデバイス画面に表示されるメニュー名、ボタン名および端子名などを、[]で囲んで記載しています。

(例：[Files]、[CUE]ボタン)

- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書で説明している手順については、OSのバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合があります。
- 本書で説明しているソフトウェアの画面の言語が、実際の画面の言語と異なる場合があります。

もくじ

本書の見かた	2
はじめに	5
同梱品を確認する	5
マニュアルを閲覧する	5
DJ ソフトウェアについて	6
各部の名称とはたらき	10
本体天面部	11
デッキ部	12
ミキサー部	19
Bluetooth MIDI インジケーター	23
本体背面部	24
本体側面部	25
接続する	26
接続例	27
rekordbox for iOS/Android を使用する	32
rekordbox for iOS/Android をインストールする	32
操作する（基本編）	34
操作する（応用編）	42
rekordbox for iOS/Android で設定を変更する	53
djay for iOS/Android を使用する	55
djay for iOS/Android をインストールする	55
操作する（基本編）	57
操作する（応用編）	63
rekordbox for Mac/Windows を使用する	71
rekordbox for Mac/Windows をインストールする	71
操作する（基本編）	75
操作する（応用編）	81
rekordbox for Mac/Windows で設定を変更する	95
Serato DJ Lite for Mac/Windows を使用する	97
Serato DJ Lite をインストールする	97
操作する（基本編）	100
操作する（応用編）	106

djay Pro for Mac/Windows を使用する.....	114
djay Pro for Mac/Windows をインストールする	114
操作する（基本編）.....	116
操作する（応用編）.....	121
本機の設定を変更する.....	129
ユーティリティーモードを起動する	129
ユーティリティーモード	130
Bluetooth MIDI デバイス名を変更する	132
その他.....	133
故障かな？と思ったら	133
仕様.....	140
他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する	142
商標および登録商標について	143
ソフトウェアのライセンス	144
著作権についてのご注意	146

はじめに

同梱品を確認する

- コントローラー
 - USB ケーブル
 - 保証書（一部の地域）*
 - クイックスタートガイド
 - 使用上のご注意
- * 欧州、北米用。（日本用は「使用上のご注意」に記載されています。）

マニュアルを閲覧する

rekordbox イン트로ダクション、操作説明書

「rekordbox イン트로ダクション」は、rekordbox for Mac/Windows のセットアップ方法を記載しています。

「操作説明書」は、rekordbox for Mac/Windows の操作方法を記載しています。

下記の rekordbox サイトをご確認ください。

rekordbox.com/manual

djay ソフトウェアマニュアル

下記サイトの **[Support]** をご確認ください。

algoriddim.com

Serato DJ Lite ソフトウェアマニュアル

下記サイトをご確認ください。

serato.com/dj/lite/downloads

DJソフトウェアについて

rekordbox for iOS/Android

- rekordbox for iOS/Androidは、楽曲管理とDJパフォーマンスができるモバイルデバイス用のDJアプリケーションです。
- rekordbox for iOS/Androidがインストールされたモバイルデバイスと本機を、USBケーブルまたはBluetoothで接続することで、モバイルデバイスのトラックやストリーミングサービスのトラックをDJプレイすることができます。
- rekordbox for iOS/Androidは、App StoreまたはGoogle Playで最新版をインストールしてください。(32 ページ)
- rekordbox for iOSはiOS端末およびiPadOS端末に、rekordbox for AndroidはAndroid端末に対応しています。最新の対応OSに関する情報は、下記rekordbox 商品サイトの【モバイル】を参照してください。
rekordbox.com
- 上記のサイトに記載の動作環境を満たしている、すべてのモバイルデバイスにおける動作を保証するものではありません。
- Bluetooth接続時、本機の電源にはUSB 電源アダプターまたはモバイルバッテリーを使用してください。

rekordbox for Mac/Windows

- rekordbox for Mac/Windowsは楽曲管理とDJパフォーマンスができるDJアプリケーションです。
- 本機をrekordbox for Mac/Windowsがインストールされたコンピューターに接続することで、サブスクリプションプランに契約していなくてもPERFORMANCEモードの機能をご利用いただけます。この仕組みをHardware Unlockと呼びます。
- Hardware Unlockの対象機能については、下記rekordboxサイトの【サポート】から【Hardware Unlock】を参照してください。
rekordbox.com
- rekordbox for Mac/Windowsソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のrekordboxサイトにアクセスして、rekordbox for Mac/Windowsソフトウェアをダウンロードしてください。
rekordbox.com
- rekordbox for Mac/Windowsの最新の動作環境、互換性、および対応OSに関する情報は、下記rekordboxサイトの【サポート】から【動作環境】を参照してください。
rekordbox.com
- 上記のサイトに記載の動作環境を満たしている、すべてのPC/Macにおける動作を保証するものではありません。
- PC/Macの省電力設定などの状態によっては、CPUやハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノートパソコンをお使いのときは、AC電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングでrekordbox for Mac/Windowsをお使いください。
- インターネットをお使いになるときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。
- 対応OSは最新のバージョン、サービスパックをお使いください。

djay for iOS/Android

djay for iOS/Androidは、DJパフォーマンスができるモバイルデバイス用のDJアプリケーションです。

- 本機を djay for iOS/Android がインストールされたモバイルデバイスに接続することで、コントローラー上で操作可能なすべての機能を使用することができます。
- djay for iOS/Android がインストールされたモバイルデバイスと本機を、USB ケーブルまたは Bluetooth で接続することで、モバイルデバイスのトラックやストリーミングサービスのトラックを DJ プレイすることができます。
- djay for iOS/Android は、App Store または Google Play で最新版をインストールしてください。(55 ページ)
- djay for iOS は iOS 端末および iPadOS 端末に、djay for Android は Android 端末に対応しています。
- Bluetooth 接続時、本機の電源には USB 電源アダプターまたはモバイルバッテリーを使用してください。

djay Pro for Mac/Windows

djay Pro for Mac/Windows は、algoriddim 社製の DJ ソフトウェアです。

djay Pro for Mac/Windows は本製品には付属されていません。下記サイトにアクセスして、djay Pro for Mac/Windows ソフトウェアをダウンロードしてください。

algoriddim.com

- 本機を djay Pro for Mac/Windows がインストールされた PC/Mac に接続することで、コントローラー上で操作可能なすべての機能を使用することができます。
- PC/Mac の省電力設定の状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型の PC/Mac では、AC 電源を接続するなど、高パフォーマンス設定で djay Pro for Mac/Windows を使用してください。

Serato DJ Lite for Mac/Windows

Serato DJ Lite は、Serato Limited 社製の DJ ソフトウェアです。

Serato DJ Lite ソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のサイトにアクセスして、Serato DJ Lite ソフトウェアをダウンロードしてください。

serato.com/dj/lite/downloads

- ユーザーアカウントの登録が完了していないお客様は、以下の操作をしてユーザーアカウントの登録を行ってください。
 - 画面の指示に従って、E-mail アドレス、設定したいパスワードを入力の上、**[Create account]** アイコンをクリックし、次の画面に表示された質問に答え、Serato DJ Lite ソフトウェアをダウンロードしてください。
 - ユーザーアカウント登録が完了すると、入力した E-mail アドレスに E-mail が送信されますので、「Serato.com」から送信された E-mail の内容を確認してください。
- ユーザー登録の際にご指定いただきましたお客様の E-mail アドレスとパスワードは、お忘れにならないように十分ご注意ください。ソフトウェアのアップデートをするときに必要になります。
- 新規ユーザーアカウントの登録時に入力する個人情報は、Serato Limited 社ウェブサイトの個人情報保護方針に基づき、収集、処理、使用されます。
- Serato DJ Lite の最新の動作環境、互換性、および対応 OS に関する情報は、下記サイトを参照してください。

serato.com/dj/lite/downloads

- 上記のサイトに記載の動作環境を満たしている、すべての PC/Mac における動作を保証するものではありません。
- PC/Mac の省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型の PC/Mac では、AC 電源を接続するなど、高パフォーマンス設定で Serato DJ Lite を使用してください。

各部の名称とはたらき

本機は、下記DJソフトウェアに対応しています。

- rekordbox for iOS/Android
- rekordbox for Mac/Windows
- djay for iOS/Android
- djay Pro for Mac/Windows
- Serato DJ Lite
- Serato DJ Pro（ライセンスの購入が必要です）

ここで紹介する各部のはたらきは、rekordbox for iOS/Androidまたはrekordbox for Mac/Windowsを使用する場合とdjay for iOS/Androidまたはdjay Pro for Mac/Windowsを使用する場合とSerato DJ Liteを使用する場合に分けて記載しています。

「◆ rekordbox for iOS/Android または rekordbox for Mac/Windows を使用する」について

rekordbox for iOS/Androidのみ使用できる機能の説明文には **iOS/Android** を、rekordbox for Mac/Windowsのみ使用できる機能の説明文には **Mac/Windows** を添えています。

どちらでも使用できる機能の説明文には上記いずれも添えていません。

「◆ djay for iOS/Android または djay Pro for Mac/Windows を使用する」について

djay for iOS/Androidのみ使用できる機能の説明文には **iOS/Android** を、djay Pro for Mac/Windowsのみ使用できる機能の説明文には **Mac/Windows** を添えています。

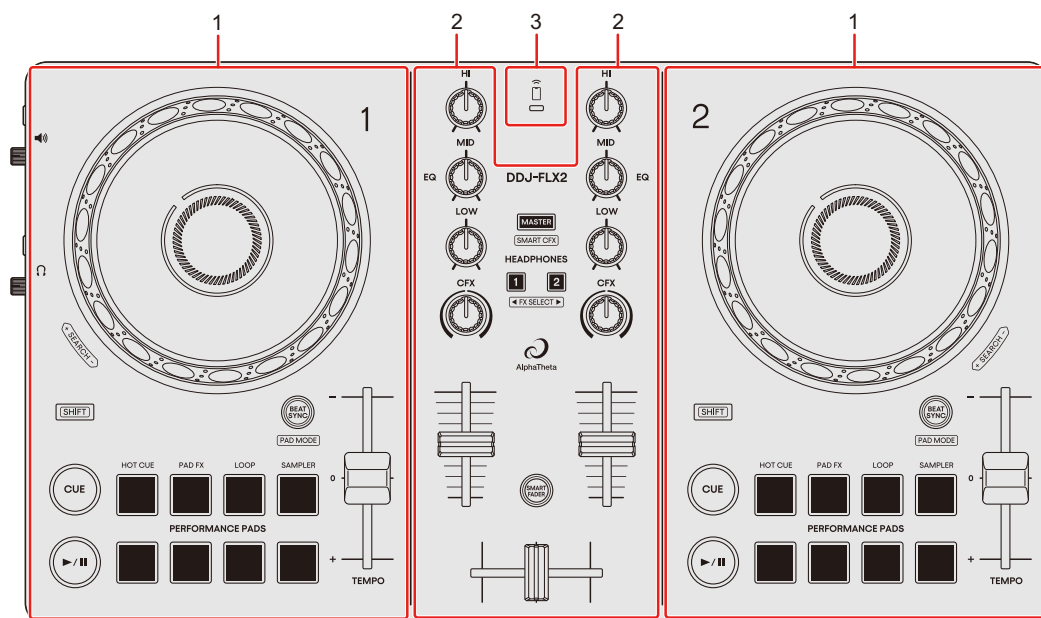
どちらでも使用できる機能の説明文には上記いずれも添えていません。

「◆ Serato DJ Lite を使用する」について

Serato DJ Lite の機能を基本に記載しています。

Serato DJ Proのみで使用できる機能の説明文には **Serato DJ Pro** を添えています。

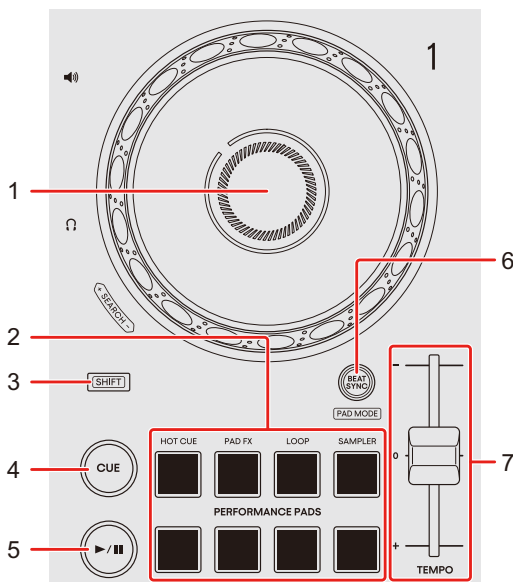
本体天面部



1. デッキ部
2. ミキサー部
3. Bluetooth MIDI インジケーター

デッキ部

2つのデッキをコントロールします。コントローラー左側にデッキ1、コントローラー右側にデッキ2を操作するスライダーやボタンがあります。



◆rekordbox for iOS/Android または rekordbox for Mac/Windows を使用する

1. ジョグ

iOS/Android

天面を回す：

スクラッチ操作ができます。

外周部を回す：

ピッチベンド操作（再生速度の調整）ができます。

Mac/Windows

VINYL モードがオンのときに天面を回す：

スクラッチ操作ができます。

各部の名称とはたらき

外周部を回す、またはVINYLモードがオフのときに天面を回す：

ピッチベンド操作（再生速度の調整）ができます。

- VINYLモードは、rekordbox for Mac/Windowsのショートカットキーでオン/オフできます。

[SHIFT] + 天面を回す：

ジョグを回す方向にトラックを早送り／早戻しします。

2. パフォーマンスパッド

押す：

パッドを使って、さまざまなパフォーマンスをすることができます。

➡「PERFORMANCE PADSを使う」（43 ページ）（82 ページ）

3. SHIFT ボタン

[SHIFT] ボタンを押しながら他のボタンを押すと、別の機能呼び出せます。

4. CUE ボタン

押す：

キューポイントを設定、再生、呼び出します。

- 一時停止中にボタンを押すとキューポイントを設定します。
- 再生中にボタンを押すとキューポイントに戻り、一時停止します。(バックキュー)
- キューポイントに戻ったあとにボタンを押し続けると、ボタンを押し続けているあいだ、再生を続けます。(キューポイントサンプラー)

[SHIFT] + 押す：

再生位置がトラックの先頭へ戻ります。

5. ▶/■（再生／一時停止）ボタン

押す：

トラックを再生／一時停止します。

6. BEAT SYNC ボタン

押す：

同期用マスターに設定されているデッキのテンポ（BPM）およびビートグリッドに自動で合わせることができます。

[SHIFT] + 押す：

パッドモードを選択する状態に切替わります。

rekordbox for iOS/Android

☞ 「パッドモードを切替える」（42 ページ）

rekordbox for Mac/Windows

☞ 「パッドモードを切替える」（81 ページ）

iOS/Android

左右の[BEAT SYNC] ボタンを同時に 1 秒以上押す：

モバイルデバイスとの Bluetooth 接続を解除します。

1 秒以上押す：

ボタンを押したデッキを同期用マスターデッキに設定します。

7. TEMPO スライダー

トラックの再生速度を調整します。

◆ djay for iOS/Android または djay Pro for Mac/Windows を使用する

1. ジョグ

天面を回す：

スクラッチ操作ができます。

外周部を回す：

ピッチベンド操作（再生速度の調整）ができます。

各部の名称とはたらき

[SHIFT] + 天面を回す：

ジョグを回す方向に高速でトラックを送ります。

2. パフォーマンスパッド

押す：

パッドを使って、さまざまなパフォーマンスをすることができます。

☞ 「PERFORMANCE PADS を使う」 (64 ページ) (122 ページ)

3. SHIFT ボタン

[SHIFT] ボタンを押しながら他のボタンを押すと、別の機能呼び出せます。

4. CUE ボタン

押す：

キューポイントを設定、再生、呼び出します。

- 一時停止中にボタンを押すとキューポイントを設定します。
- 再生中にボタンを押すとキューポイントに戻り、一時停止します。(バックキュー)
- キューポイントに戻ったあとにボタンを押し続けると、ボタンを押し続けているあいだ、再生を続けます。(キューポイントサンプラー)

[SHIFT] + 押す：

再生位置がトラックの先頭へ戻ります。

5. ▶/|| (再生／一時停止) ボタン

押す：

トラックを再生／一時停止します。

6. BEAT SYNC ボタン

押す：

複数のデッキのテンポ（ピッチ）およびビートグリッドを自動で合わせることができます。

各部の名称とはたらき

[SHIFT] + 押す：

パッドモードを選択する状態に切替わります。

☞ 「パッドモードを切替える」 (63 ページ) (121 ページ)

iOS/Android

左右の**[BEAT SYNC]** ボタンを同時に 1 秒以上押す：

モバイルデバイスの Bluetooth 接続を解除します。

1 秒以上押す：

再生中のトラックのテンポ (BPM) をオリジナルテンポに戻します。

7. TEMPO スライダー

トラックの再生速度を調整します。

◆ Serato DJ Lite を使用する

1. ジョグ

天面を回す：

スクラッチ操作ができます。

外周部を回す：

ピッチベンド操作 (再生速度の調整) ができます。

[SHIFT] + 天面を回す：

ジョグを回す方向に高速でトラックを送ります。

2. パフォーマンスパッド

押す：

パッドを使って、さまざまなパフォーマンスをすることができます。

☞ 「PERFORMANCE PADS を使う」 (107 ページ)

各部の名称とはたらき

3. SHIFT ボタン

[SHIFT] ボタンを押しながら他のボタンを押すと、別の機能呼び出せます。

4. CUE ボタン

押す：

キューポイントを設定、再生、呼び出します。

- 一時停止中にボタンを押すとキューポイントを設定します。
- 再生中にボタンを押すとキューポイントに戻り、一時停止します。(バックキュー)
- キューポイントに戻ったあとにボタンを押し続けると、ボタンを押し続けているあいだ、再生を続けます。(キューポイントサンプラー)

[SHIFT] + 押す：

再生位置がトラックの先頭へ戻ります。

5. ▶/■ (再生／一時停止) ボタン

押す：

トラックを再生／一時停止します。

[SHIFT] + 押す：

テンポラリーキューポイントに戻って再生を続けます。(スタッター)

6. BEAT SYNC ボタン

押す：

複数のデッキのテンポ (ピッチ) およびビートグリッドを自動で合わせることができます。

[SHIFT] + 押す：

パッドモードを選択する状態に切替わります。

☞ 「パッドモードを切替える」 (106 ページ)

各部の名称とはたらき

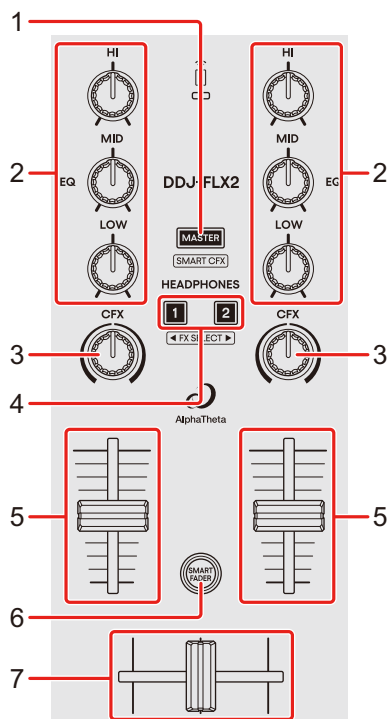
1 秒以上押す：

SYNC を解除します。

7. TEMPO スライダー

トラックの再生速度を調整します。

ミキサー部



1. MASTER CUE ボタン

押す：

マスター出力の音声ヘッドホンから出力されます。

rekordbox for iOS/Android

- ☛ 「USB ケーブル接続時に、ヘッドホンで音声をモニターする」 (39 ページ)
- ☛ 「Bluetooth接続時に、ヘッドホンで音声をモニターする」 (39 ページ)

djay for iOS/Android

- ☛ 「USB ケーブル接続時に、ヘッドホンで音声をモニターする」 (61 ページ)
- ☛ 「Bluetooth接続時に、ヘッドホンで音声をモニターする」 (61 ページ)

rekordbox for Mac/Windows

- ☛ 「ヘッドホンで音声をモニターする」 (80 ページ)

Serato DJ Lite

- ☛ 「ヘッドホンで音声をモニターする」 (105 ページ)

各部の名称とはたらき

djay Pro for Mac/Windows

🔊 「ヘッドホンで音声をモニターする」 (120 ページ)

[SHIFT] + 押す：

SOUND COLOR FX をオン/オフします。

- rekordbox for iOS/Android以外を使用時は、SMART CFX をオン/オフします。

2. EQ (HI、MID、LOW) ノブ

各チャンネルに対してそれぞれの周波数域を増減させることができます。

3. CFX ノブ

[SHIFT] ボタンを押したときの **[MASTER CUE]** ボタンがオフのとき：

rekordbox for iOS/Android

常に原音が出力されます。

rekordbox for Mac/Windows

各チャンネルに対して、SOUND COLOR FX をかけます。ノブがセンター位置のとき原音が出力されます。

djay for iOS/Android、djay Pro for Mac/Windows、Serato DJ Lite

各チャンネルに対してフィルターエフェクトをかけます。ノブがセンター位置のとき原音が出力されます。

[SHIFT] ボタンを押したときの **[MASTER CUE]** ボタンがオンのとき：

rekordbox for iOS/Android

各チャンネルに対して、SOUND COLOR FX をかけます。ノブがセンター位置のとき原音が出力されます。

rekordbox for iOS/Android以外

各チャンネルに対して、SMART CFX をかけます。ノブがセンター位置のとき原音が出力されます。

4. ヘッドホンCUEボタン

押す：

押してあるチャンネルの音声ヘッドホンから出力されます。

rekordbox for iOS/Android

☞ 「USB ケーブル接続時に、ヘッドホンで音声をモニターする」 (39 ページ)

☞ 「Bluetooth接続時に、ヘッドホンで音声をモニターする」 (39 ページ)

djay for iOS/Android

☞ 「USB ケーブル接続時に、ヘッドホンで音声をモニターする」 (61 ページ)

☞ 「Bluetooth接続時に、ヘッドホンで音声をモニターする」 (61 ページ)

rekordbox for Mac/Windows

☞ 「ヘッドホンで音声をモニターする」 (80 ページ)

Serato DJ Lite

☞ 「ヘッドホンで音声をモニターする」 (105 ページ)

djay Pro for Mac/Windows

☞ 「ヘッドホンで音声をモニターする」 (120 ページ)

[SHIFT]+押す：

SMART CFX のプリセットを変更します。

5. チャンネルフェーダー

スライドする：

各チャンネルから出力される音声レベルを調整します。

[SHIFT]+スライドする：

フェーダースタート機能を使います。

6. SMART FADER ボタン

押す：

SMART FADER機能をオン／オフします。

- djay for iOS/Android または djay Pro for Mac/Windows使用時は Crossfader Fusion 機能をオン／オフします。

7. クロスフェーダー

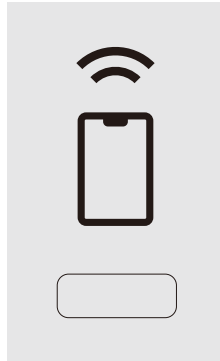
スライドする：

クロスフェーダーの左右に割り当てられたチャンネルの音声をクロスフェーダーカーブの特性に従って出力します。

[SHIFT] + スライドする：

フェーダースタート機能を使います。

Bluetooth MIDI インジケーター



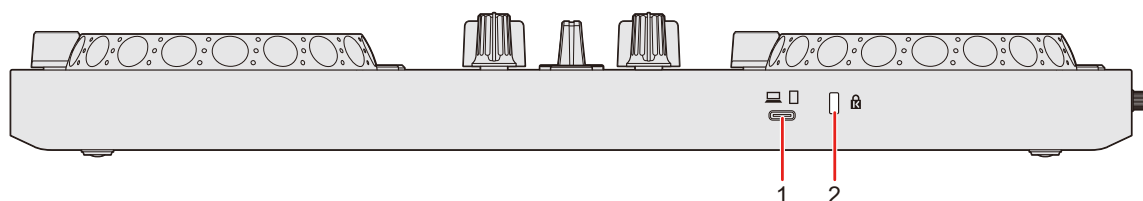
点滅：モバイルデバイスとの間でBluetooth接続されていない状態です。

点灯：モバイルデバイスとの間でBluetooth接続されている状態です。

消灯：本機がDJソフトウェアとのUSB接続を認識している状態です。

- 本機をPC/MacのUSB 端子から給電している状態で、Bluetooth接続でDJソフトウェアを使用する場合、PC/Mac上でDJソフトウェアを起動しないでください。

本体背面部



1. USB端子

USB電源アダプター（市販品）またはモバイルバッテリー（市販品）と接続します。

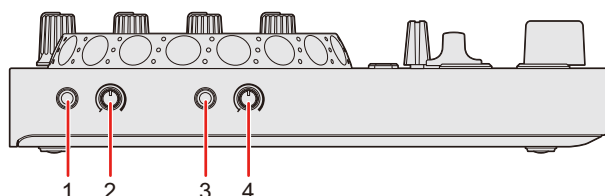
PC/Mac または USB Type-C 端子を持つiOS/Android機器と接続します。

- 接続するUSBケーブルは、必ず下記のケーブルを使用してください。
 - USB Type-C 端子を持つ機器との接続：本製品に付属のケーブル
 - USB Type-A 端子を持つ機器との接続：長さ3 m以下のUSB認証品ケーブル
- USBハブを使用する場合は、お使いのPC/Macのメーカー推奨製品をご利用ください。すべてのUSBハブの動作を保証するものではありません。

2. ケンジントンロック装着用穴

盗難防止用のワイヤーロックを装着するための穴です。

本体側面部



1. 🗣️(マスター) 出力端子

パワードスピーカーやパワーアンプなどを接続します。

ステレオミニフォーンプラグ (3.5 mm) に対応しています。

2. 🗣️(マスターレベル) ノブ

マスター出力の音声レベルを調整します。

3. 🎧(ヘッドホン) 出力端子

ヘッドホンを接続します。

ステレオミニフォーンプラグ (3.5 mm) に対応しています。

- インピーダンスが32 Ω以上のヘッドホンを接続してください。インピーダンスが32 Ωより小さいヘッドホンには対応していません。

4. 🎧(ヘッドホンレベル) ノブ

ヘッドホン出力の音声レベルを調整します。

接続する

- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、USB ケーブルを抜いてから行ってください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- PC/Mac およびモバイルデバイスと接続する USB ケーブルは、必ず下記のケーブルを使用してください。
 - USB Type-C 端子を持つ機器との接続：本製品に付属のケーブル
 - USB Type-A 端子を持つ機器との接続：長さ 3 m 以下の USB 認証品ケーブル
- USB ハブを使用する場合は、お使いの PC/Mac のメーカー推奨製品をご利用ください。すべての USB ハブの動作を保証するものではありません。
- PC/Mac と組み合わせて使用する場合、USB ケーブルで本機と接続するだけで使用できます (USB バスパワー)。ただし、以下のような場合に、USB バスパワーで動作しないことがあります。
 - PC/Mac 本体の USB 端子の電源供給能力が不足している。
 - PC/Mac に他の USB 機器を接続している。
 - インピーダンスが 32 Ω より小さいヘッドホンを接続している。
 - **【 Ω (ヘッドホン)】** 出力端子にモノラルプラグを接続している。
- 有線接続に対応しているモバイルデバイスは以下になります。
 - USB Type-C 端子を持つ iPhone または iPad
 - USB Type-C 端子を持つ Android 端末

※ 一部機種で接続できない場合や、接続できても音声为正しく出力されないまたはノイズが出る場合があります。その場合は Bluetooth で接続してください。
- モバイルデバイスと Bluetooth 接続で使用する場合、電源として、USB 電源アダプターまたはモバイルバッテリーを使用することができます。
- Lightning 端子を持つ iPhone または iPad や、Micro USB Type-B 端子を持つ Android 端末は、Bluetooth で接続してください。
- USB 端子に USB 電源アダプターやモバイルバッテリーを接続する場合、電源電圧が DC +5V、電流供給能力が 500 mA 以上のものをお使いください。
接続に必要なケーブルは、USB 認証品を使用してください。
モバイルバッテリーは、省電力機能のないものをお使いください。
上記の記載を満たしている、すべてのモバイルバッテリーにおける動作を保証するものではありません。

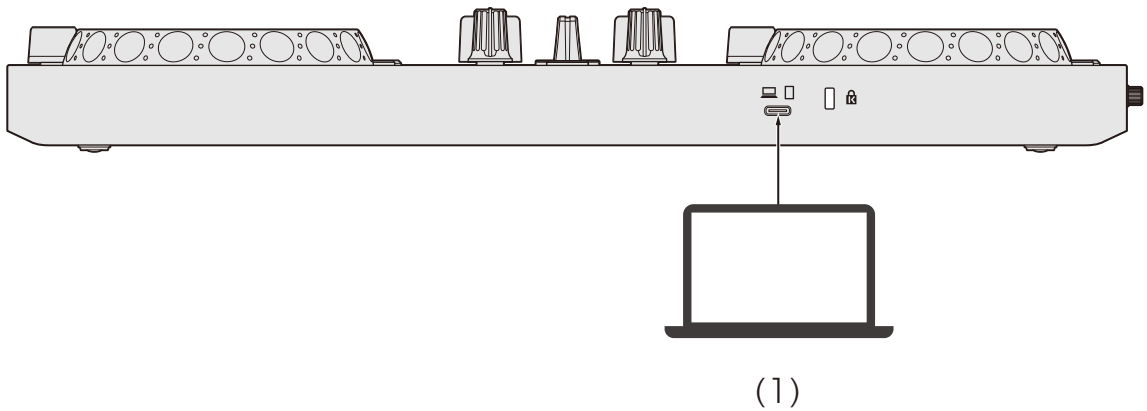
接続例

入出力端子に接続する

本体背面部

◆ PC/Macと組み合わせて使用する場合

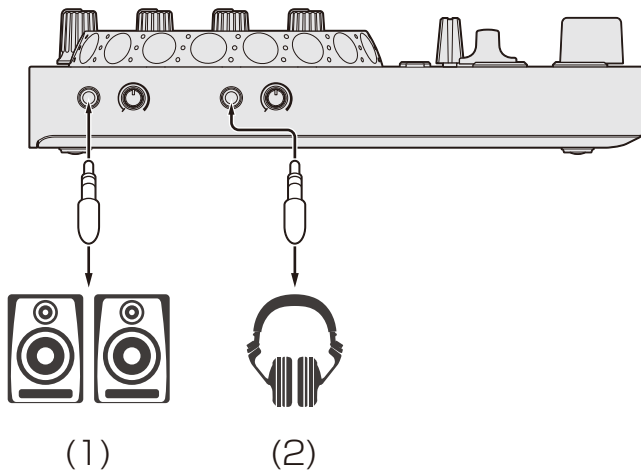
(1) PC/Mac



本体側面部

(1) パワースピーカー、パワーアンプなど

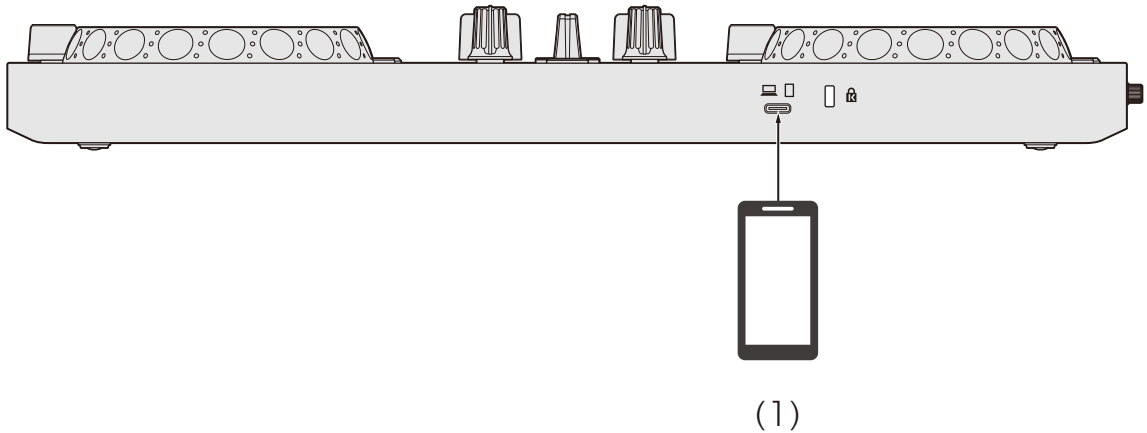
(2) ヘッドホン



◆ モバイルデバイスと組み合わせて使用する場合

(1) モバイルデバイス（USB Type-C 端子を持つ iPhone または iPad、USB Type-C 端子を持つ Android 端末）

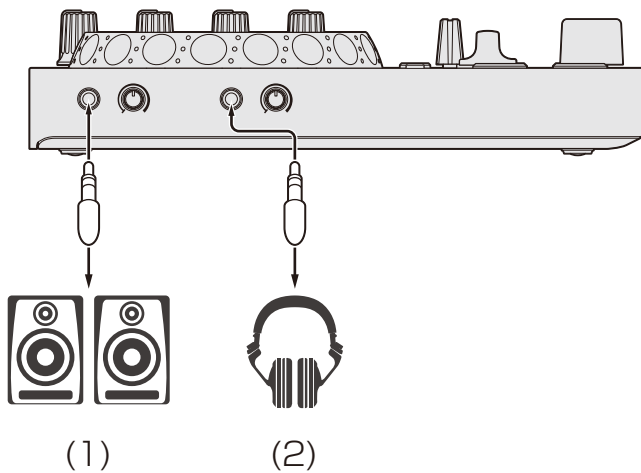
※ 一部機種で接続できない場合や、接続できても音声が入り正しく出力されないまたはノイズが出る場合があります。その場合は Bluetooth で接続してください。



本体側面部

(1) パワースピーカー、パワーアンプなど

(2) ヘッドホン



接続の手順

1 (ヘッドホン)] 出力端子にヘッドホンを接続する

- インピーダンスが $32\ \Omega$ 以上のヘッドホンを接続してください。インピーダンスが $32\ \Omega$ より小さいヘッドホンには対応していません。

2 (マスター)] 出力端子にパワードスピーカー、パワーアンプなどの機器を接続する

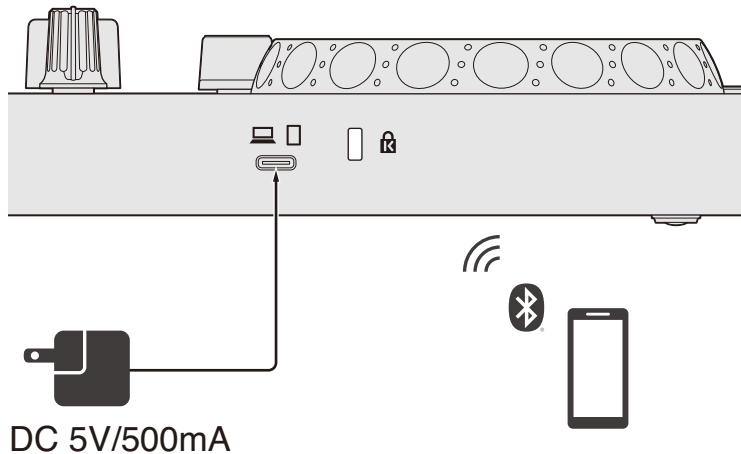
3 USB端子にPC/Mac、モバイルデバイスをUSBケーブルで接続する

4 出力端子に接続された機器（パワードスピーカーなど）の電源を入れる

Bluetoothで接続する

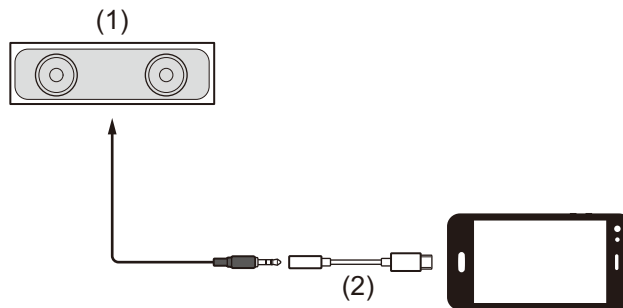
本機はモバイルデバイスとBluetoothで接続することができます。

この場合音声は本機から出力されませんので、モバイルデバイスと音声出力機器を接続するケーブルを別途ご用意の上ご使用ください。



音声出力機器の接続例 1

この接続例の場合は、マスター音声がステレオで出力されます。ヘッドホンモニター用音声は出力されません。

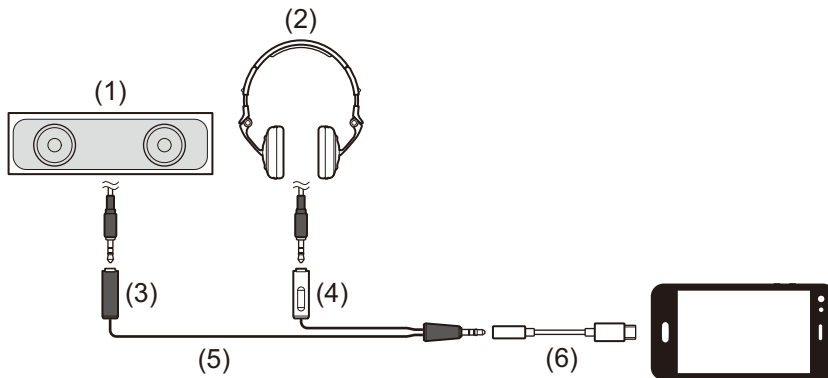


(1) アンプ内蔵スピーカーなど

(2) USB/Lightning - 3.5 mm ヘッドホンジャック（市販品）

音声出力機器の接続例 2

この接続例の場合は、マスター音声およびヘッドホンモニター用音声はモノラルで出力されます。



- (1) アンプ内蔵スピーカーなど
- (2) ヘッドホン
- (3) アンプ内蔵スピーカーなどの接続用端子
- (4) ヘッドホン接続用端子
- (5) スプリットケーブル（市販品）
- (6) USB/Lightning - 3.5 mm ヘッドホンジャック（市販品）

Bluetooth 接続する際は、rekordbox for iOS/Android または djay for iOS/Android のアプリ内から Bluetooth 接続の設定をしてください。

モバイルデバイスの環境設定から Bluetooth 接続することはできません。

設定方法については下記をご参照ください。

- ➡ 「rekordbox for iOS/Android を起動する」（34 ページ）
- ➡ 「djay for iOS/Android を起動する」（57 ページ）

rekordbox for iOS/Android を使用する

rekordbox for iOS/Android をインストールする

rekordbox for iOS/Android を準備する

rekordbox for iOS/Androidをはじめてお使いになるお客様は、本手順に従って最新版の rekordbox for iOS/Androidをインストールしてください。

rekordbox for iOS/Androidを既にインストールされているお客様は、App Store または Google Playで最新版にアップデートしてください。

- モバイルデバイスやその他に必要なインターネット利用環境はお客様でご用意ください。
-

インストール手順について

お客様がお使いになるモバイルデバイスのオペレーティングシステム（OS）により、インストールの手順が異なります。

❖ インストール手順（iOS または iPadOS）

1 下記のQRコードまたはURLにアクセスしてApp Storeを開く



<https://apps.apple.com/app/id1487048203>

rekordbox for iOS/Android を使用する

2 [入手]をタップしてrekordbox for iOSをインストールする

インストールが終わると【開く】に変わります。タップしてrekordbox for iOS を開始してください。

❖ インストール手順（Android）

1 下記のQRコードまたはURLにアクセスしてGoogle Playを開く



<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.pioneerdj.rekordbox>

2 [インストール]をタップしてrekordbox for Androidをインストールする

インストールが終わると【開く】に変わります。タップしてrekordbox for Androidを開始してください。

操作する（基本編）

rekordbox for iOS/Android を起動する

rekordbox アイコンをタップしてください。



rekordbox

“デバイス内の写真やメディアへのアクセスを「rekordbox」に許可しますか？”で
[許可する]をタップしてください。

ソフトウェア使用許諾契約の内容をよく読み、[上記のソフトウェア使用許諾初を読みまし
た。]にチェックを入れ、[同意します]をタップしてください。

rekordbox for iOS/Android を使用するには、AlphaTheta アカウントの登録が必要です。

rekordbox.com/ja/account/register

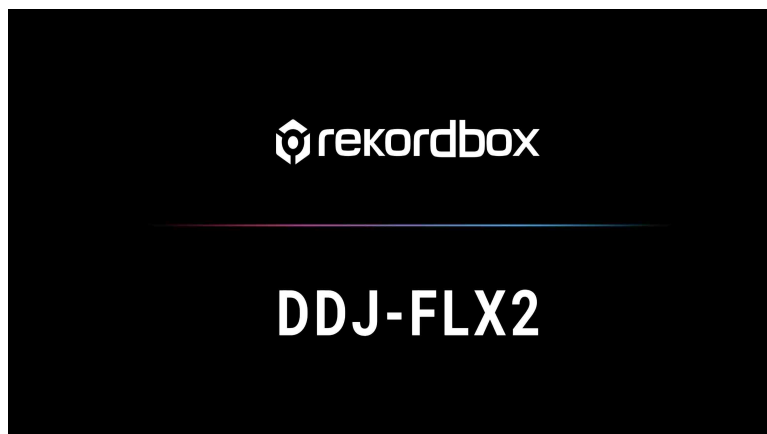
本機とモバイルデバイスを接続する

❖ USB ケーブルで接続する

USB ケーブルで本機の USB 端子とモバイルデバイスを接続する

rekordbox for iOS/Android を使用する

接続すると以下の画像が表示されます。



❖ Bluetoothで接続する

- 1 本機のUSB端子に電源アダプターやモバイルバッテリーを接続して電源をオンにする
- 2 rekordbox for iOS/Androidを起動中にモバイルデバイスを横向きにして、ブラウザ画面を閉じる。

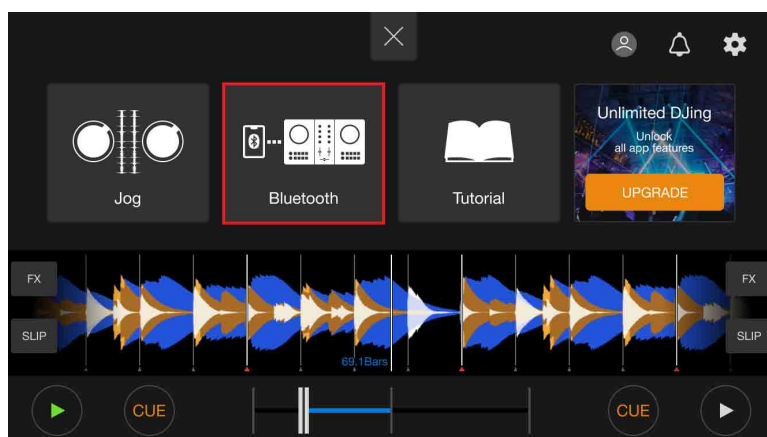
手順3の画面が表示されます。

- 3 画面中央上部の  をタップする



rekordbox for iOS/Android を使用する

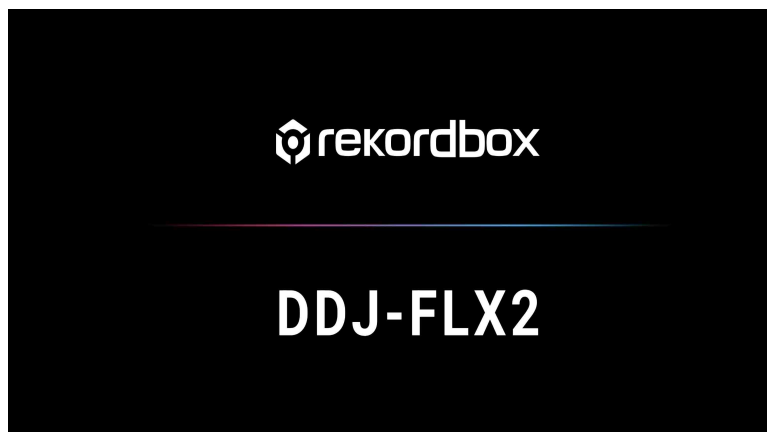
4 をタップする



5 検出された[DDJ-FLX2]をタップする



接続すると以下の画面が表示されます。



トラックをデッキにロードする

以下では、デッキ1 (左側) にトラックをロードする方法を例にして説明します。

1 rekordbox for iOS/Android メイン画面上部にあるデッキ1の楽曲タイトルエリアをタップする

ブラウザ画面に切替わります。

2 [コレクション]内のトラックをタップする

トラックがデッキにロードされます。

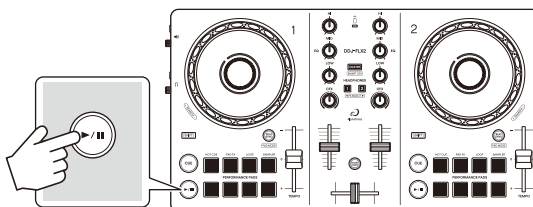
トラックを再生する

以下では、デッキ1 (左側) の音声を出力する方法を例にして説明します。

1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

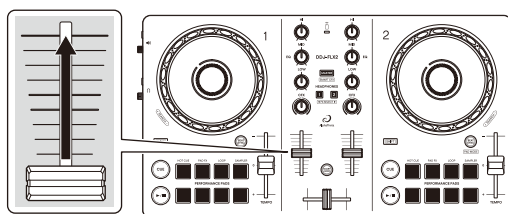
- EQ [HI、MID、LOW] ノブ：中心位置
- [CFX] ノブ：中心位置
- チャンネルフェーダー：手前側の位置
- [🔊] (マスターレベル) ノブ：左に回しきった位置
- クロスフェーダー：中心位置

2 [▶/⏸] (再生／一時停止) ボタンを押してトラックを再生する



rekordbox for iOS/Android を使用する

3 チャンネルフェーダーを奥側に動かす



4 スピーカーの音声レベルを調整する

USBケーブル接続時

【】(マスター) 出力端子から出力される音声レベルを【】(マスターレベル) ノブをまわして適切な音量に調整します。



- 【】(マスター) 出力端子から音声が出力されないときや、本機をモバイルデバイスに接続しても認識しないときなどは、「故障かな?と思ったら」(133 ページ) を参照してください。

Bluetooth接続時

音声はモバイルデバイスから出力されます。

- 【】(マスターレベル) ノブではなく、モバイルデバイスのスピーカーの音量を調節してください。

USB ケーブル接続時に、ヘッドホンで音声をモニターする

本機をモバイルデバイスとUSBケーブルで接続した場合、本機の[Ω(ヘッドホン)]出力端子からヘッドホンでモニターすることができます。

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

- 1 ヘッドホンを本機に接続する
- 2 [Ω(ヘッドホンレベル)]ノブを左に回しきった位置に設定する
- 3 チャンネル1のヘッドホン[CUE]ボタンを押す
- 4 [Ω(ヘッドホンレベル)]ノブを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

Bluetooth 接続時に、ヘッドホンで音声をモニターする

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

- 1 モバイルデバイスにスプリットケーブル（市販品）を接続する
 - スプリットケーブルは、ステレオヘッドホン出力端子から出力される音声をLチャンネルとRチャンネルに分岐させるためのケーブルです。
- 2 スプリットケーブルのLチャンネルにスピーカーを、Rチャンネルにヘッドホンを接続する
- 3 rekordbox for iOS/Android を起動中にモバイルデバイスを横向きにして、ブラウザ画面を閉じる。

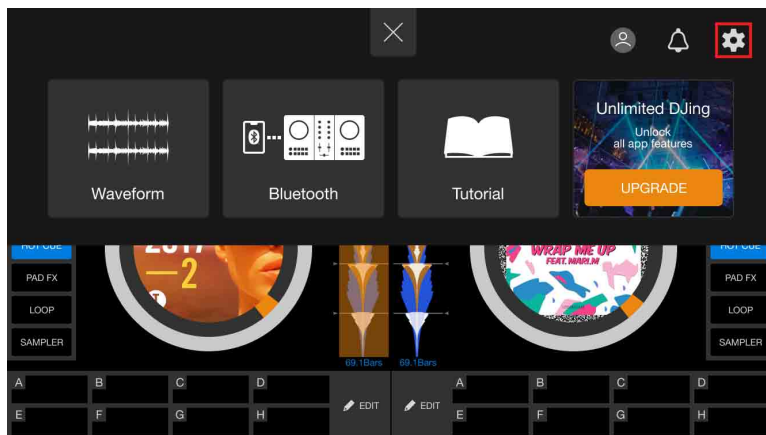
手順4の画面が表示されます。

rekordbox for iOS/Android を使用する

4 画面中央上部の をタップする

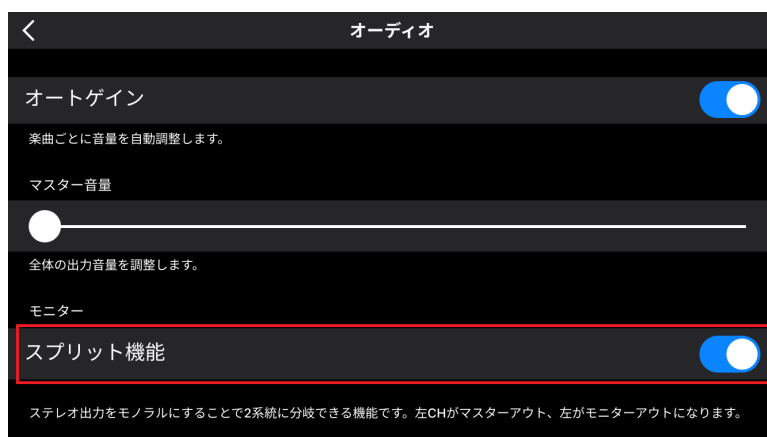


5 をタップして[設定]画面を開く



rekordbox for iOS/Android を使用する

6 【オーディオ】の【モニター】の【スプリット機能】をONにする



7 本機の【 (ヘッドホンレベル)】ノブを左に回しきった位置に設定する

8 本機のチャンネル1のヘッドホン[CUE]ボタンを押す

9 本機の【 (ヘッドホンレベル)】ノブを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

Android 端末で正しくステレオ出力されない場合

【Android MONO/STEREO】の設定を【STEREO】にしたとき、一部の端末では本機と正しく接続されず、正常なステレオ音声が出力されない場合があります。その際は【Android MONO/STEREO】の設定を【MONO】にすると正しく出力できる場合があります。

➡ 「rekordbox for iOS/Android で設定を変更する」 (53 ページ)

本機の電源をオフにする

USB ケーブルを抜いて本機の電源をオフにしてください。

操作する（応用編）

パッドモードを切替える

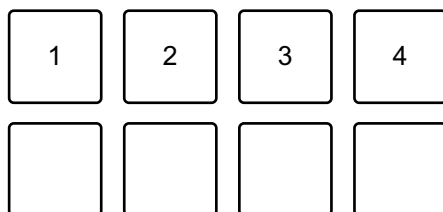
パフォーマンスパッドを使用してHOT CUEモード、PAD FXモード、BEAT LOOPモード、SAMPLERモードに切替えることができます。

1 [SHIFT]ボタンを押しながら[BEAT SYNC]ボタンを押す

パッドモードを選択できる状態に切替わります。

各パッドモードは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられています。

- 再度[SHIFT]ボタンを押しながら[BEAT SYNC]ボタンを押すと直前の状態に戻ります。



1 : HOT CUEモード、2 : PAD FXモード、3 : BEAT LOOPモード、
4 : SAMPLERモード

2 パフォーマンスパッド1～4のいずれかを押す

パッドを押したパッドモードに切替わります。

PERFORMANCE PADS を使う

❖ HOT CUE を使う

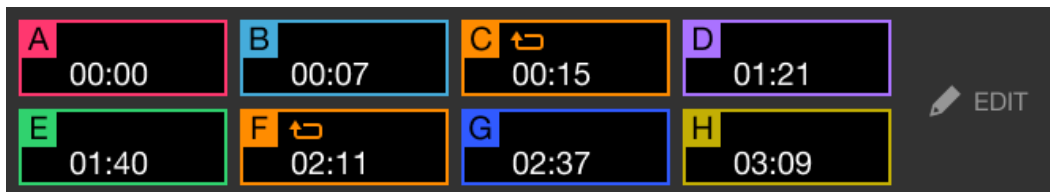
ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。またホットキューのほかに、ループを設定し瞬時に呼び出すこともできます。

- rekordbox for iOS/Androidでは、ホットキューポイントは1曲につき8か所まで設定および保存することができます。

HOT CUE を設定して呼び出す

- 1 「パッドモードを切替える」(42 ページ) の手順に従ってHOT CUE モードに切替える
- 2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

各ホットキューポイントは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



- 3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

BEAT LOOP を設定して呼び出す

- 1 「パッドモードを切替える」(42 ページ) の手順に従って BEAT LOOP モードに切替える
- 2 パフォーマンスパッドを押す
押されたパッドに割り当てられた拍数でループが設定されます。
☞ 「BEAT LOOP を使う」(46 ページ)
- 3 「パッドモードを切替える」(42 ページ) の手順に従って HOT CUE モードに切替える
- 4 パフォーマンスパッドを押す
HOT CUE モードで押されたパッドにループが設定されます。
- 5 ループが設定されたパフォーマンスパッドを押す
設定されたループのループインポイントからループ再生が始まります。
 - **[SHIFT]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたループを消去できます。

rekordbox for iOS/Android を使用する

❖ PAD FX を使う

パフォーマンスパッドを押す / 離すだけの簡単な操作で幅広いエフェクトパフォーマンスができます。

1 「パッドモードを切替える」(42 ページ) の手順に従って PAD FX モードに切替える

各エフェクトは以下のように各パフォーマンスパッドに割り当てられます。

ROLL 1/2	SWEEP 80	FLANGER 16/1	V.BRAKE 3/4	EDIT
ECHO 1/4	ECHO 1/2	REVERB 60	R.ECHO 1/2	FX 1

2 パフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

3 パフォーマンスパッドから指を離す

エフェクトがオフになります。

rekordbox for iOS/Android を使用する

PAD FXのRELEASE FXを使う

あらかじめリリースFXをパフォーマンスパッドに割り当てする必要があります。

1 リリースFX以外のエフェクトが割り当てられたパフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

2 リリースFXが割り当てられたパフォーマンスパッドを押してから離す

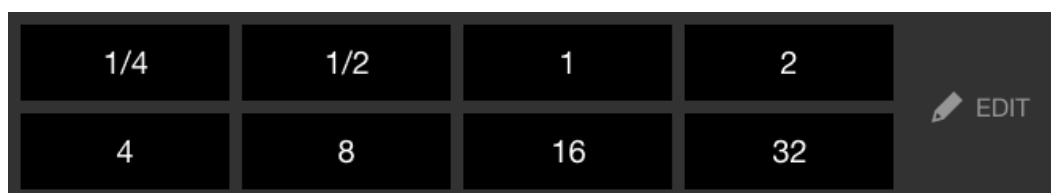
それまでオンになっていたエフェクトがオフになり、リリースFXの効果が付加されます。

❖ BEAT LOOPを使う

パフォーマンスパッドを押すとパッドに割り当てられた拍数のループが設定され、パッドから指を離してもループ再生を継続します。

1 「パッドモードを切替える」(42 ページ) の手順に従ってBEAT LOOPモードに切替える

BEAT LOOPモードの拍数設定が、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



各パッドに表示されている数値はループ再生する拍数を表しています。

2 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた拍数で、ループ再生します。

3 同じパフォーマンスパッドをもう一度押す

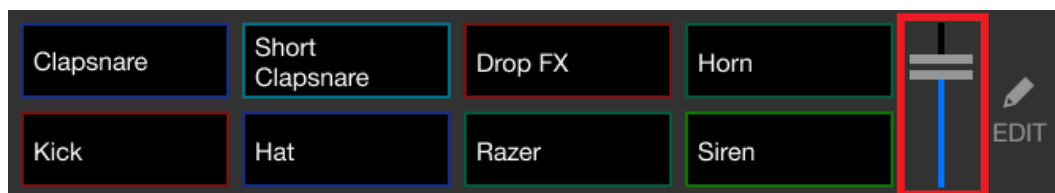
ループ再生が解除されます。

rekordbox for iOS/Android を使用する

❖ SAMPLER を使う

サンプラーのサンプラスロットにロードされたトラックを、パフォーマンスパッドで再生できます。

- 1 「パッドモードを切替える」(42 ページ) の手順に従って SAMPLER モードに切替える
- 2 サンプラーの音量を調整する

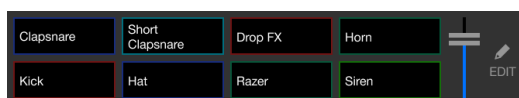


- 3 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。

- デッキ1とデッキ2で割り当てられるサンプラーのプリセットは異なります。

デッキ1



デッキ2



- 4 サンプラー再生中にパフォーマンスパッドを押す

先頭に戻って再生を続けます。

- 5 サンプラー再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、パフォーマンスパッドを押す

再生中のスロットの音声を停止します。

FADER START 機能を使う

❖ CH FADER START 機能を使う

1 キューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

2 [SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす

設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーの位置を一番手前に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります(バックキュー)。

キューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

❖ CROSSFADER START 機能を使う

1 キューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

2 クロスフェーダーを動かして、左端または右端の位置にする

フェーダースタートさせたいチャンネルが設定されている側とは反対側の端に設定します。

3 [SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーを左端または右端の位置から逆側に動かす

設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーの位置を元の位置に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります(バックキュー)。

キューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

トラックを解析する

[設定]>[一般]>[楽曲解析]>[自動解析]をオンにしているとき、トラックの解析が行われます。

- 解析が完了する前のトラックをデッキにロードすると、BPMや波形表示に時間がかかる場合があります。
- トラックの数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

SMART CFXを使う

1 [SHIFT]ボタンを押しながらヘッドホン[CUE]ボタンを押す

SMART CFX機能のプリセット画面が表示され、エフェクトの種類を切替えることができます。

2 [SHIFT]ボタンを押しながら[MASTER CUE]ボタンを押す

SMART CFX機能をオンします。

3 [CFX]ノブを回す

ノブを回す操作に合わせて、エフェクトなどの効果が変化します。

❖ SMART CFXを終了する

[SHIFT]ボタンを押しながら[MASTER CUE]ボタンを押す
SMART CFX機能をオフします。

SMART FADER を使う

1 デッキ1とデッキ2にトラックをロードする

2 [SMART FADER] ボタンを押す

SMART FADER 機能をオンします。

- SMART FADER 機能がオンの間は、ビートシンクがオンに設定されます（オフできません）。
- SMART FADER 機能がオンの間は、rekordbox for iOS/Android の画面で操作出来ない機能(一部のエフェクト、EQ LOW、ビートシンク)があります。

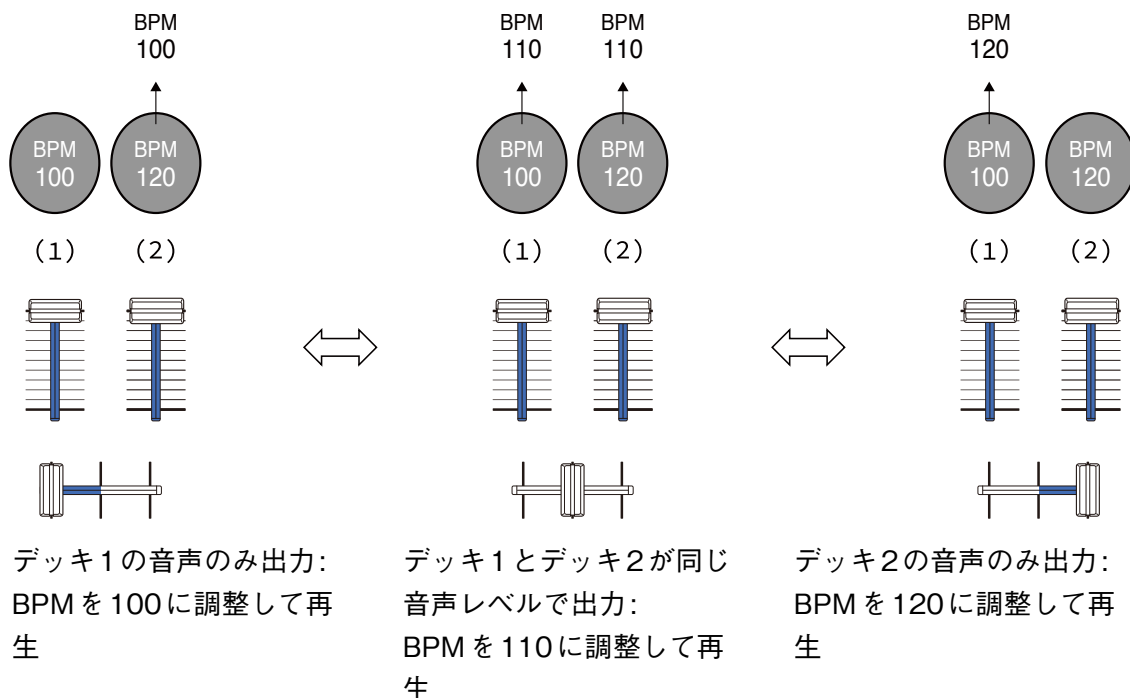
3 チャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーを操作して楽曲をミックスする

- フェーダー操作およびトラックのBPMに応じて、再生するときのBPMを調整します。
- フェーダー操作に応じて、EQ LOWを自動調整します。
- フェーダー操作に応じて、自動でECHOエフェクトをかけます。
- フェーダー操作によってデッキ1の音声のみ出力されているときは、デッキ1のトラックのBPMに、デッキ2の音声のみ出力されているときは、デッキ2のトラックのBPMに調整されます。また、デッキ1とデッキ2が同じ音声レベルで出力されているときは、デッキ1とデッキ2のトラックの中間のBPMに調整されます。
- デッキ1とデッキ2のBPMが大きく離れているときに、テンポレンジ範囲外となりSMART FADER機能が正しく動作しない場合があります。

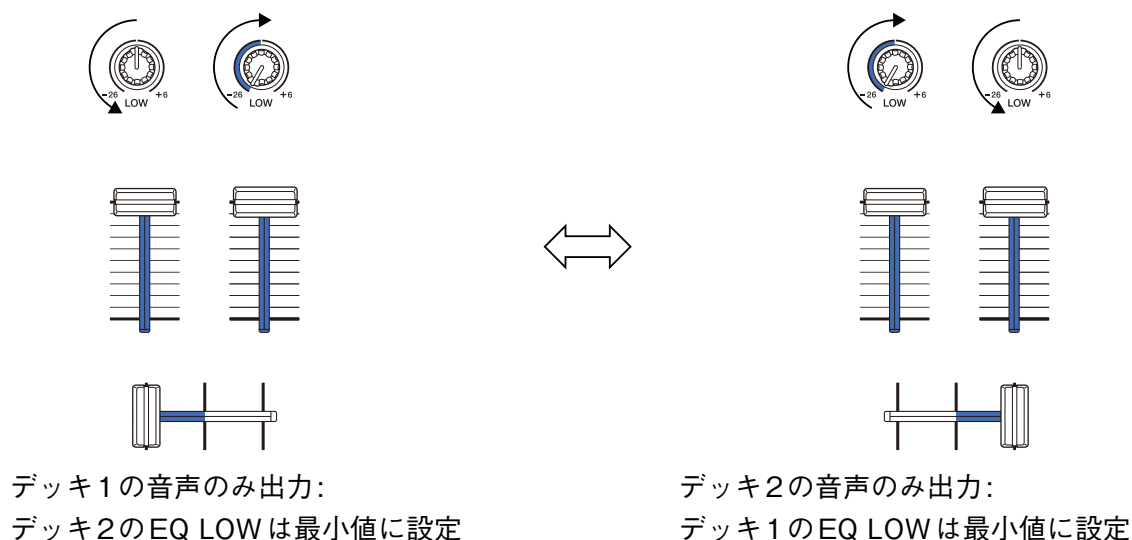
rekordbox for iOS/Android を使用する

- 操作例

(1) : デッキ1、(2) : デッキ2



本操作例の場合は、100～120の間で線形に変化します。



rekordbox for iOS/Android を使用する

本操作例の場合は、以下のように変化します。

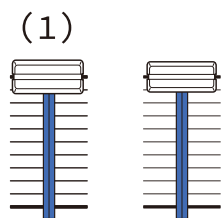
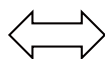
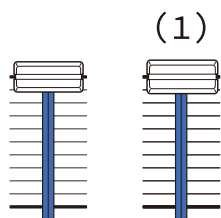
チャンネル1：クロスフェーダー位置が左から1/3～2/3の間にあるとき、EQ LOWのノブの位置がセンター位置から最小値へ変化

チャンネル2：クロスフェーダー位置が左から1/3～2/3の間にあるとき、EQ LOWのノブの位置が最小値からセンター位置へ変化

※ EQ LOWの変化カーブは直前のEQ LOWのノブ位置やフェーダー位置によって異なり、スムーズにミックスができるように自動でコントロールされます。

※ 実際のEQ LOWのノブ位置はrekordbox for iOS/Androidの画面では変化せず、音声のみが変化します。

(1)：ECHO をかける



デッキ1の音声のみ出力：
デッキ2のトラックにECHO
をかける

デッキ2の音声のみ出力：
デッキ1のトラックにECHO
をかける

本操作例の場合は、以下のように変化します。

デッキ1：クロスフェーダーを右端へ移動させたときにECHOがかかります。

※ 右端を起点に左方向へ移動したときにはECHOはかかりません。

デッキ2：クロスフェーダーを左端へ移動させたときにECHOがかかります。

※ 左端を起点に右方向へ移動したときにはECHOはかかりません。

• **【設定】**にて、SMART FADER機能进行操作するフェーダーを選択できます。

【設定】>[DDJ-FLX2]>[SMART FADERで使用するフェーダー]

❖ SMART FADERを終了する

[SMART FADER] ボタンを押す

SMART FADER機能をオフします。

rekordbox for iOS/Android で設定を変更する

DJ プレイに必要な設定を rekordbox for iOS/Android 上で変更することができます。

[設定]>[DDJ-FLX2]内にある設定項目で変更します。

rekordbox for iOS/Android と本機を接続した場合のみ、以下の設定を変更することができます。

[バックスピンレングス]の設定

本機はジョグをバックスピン操作した際、実際のジョグの回転量よりも長くバックスピンさせることができます。

バックスピンの長さは、ショート／ノーマル／ロングの3種類から選択できます。

- **[ショート]**：バックスピンレングス ショート
- **[ノーマル]**：バックスピンレングス ノーマル
- **[ロング]**：バックスピンレングス ロング

[フェーダースタート]の設定

フェーダースタート機能の設定を変更します。

[SMART FADERで使用するフェーダー]の設定

SMART FADERで使用するフェーダーを選択できます。

- **[クロスフェーダーとチャンネルフェーダー]**：クロスフェーダーとチャンネルフェーダーのいずれかの操作によって SMART FADER 機能が動作します。
- **[クロスフェーダー]**：クロスフェーダー操作によって SMART FADER 機能が動作します。
- **[チャンネルフェーダー]**：チャンネルフェーダー操作によって SMART FADER 機能が動作します。

[SMART FADER 推奨カーブを使用する]を ON にすると SMART FADER 推奨カーブで動作します。

[Android MONO/STEREO]の設定

Android 端末接続時の音声出力方式を設定します。

Android 端末使用時のみ表示されます。

- **[MONO]**：モノラル出力になります。
- **[STEREO]**：ステレオ出力になります。

rekordbox for iOS/Android を使用する

【デモモード】の設定

デモモード開始までの時間の設定を行います。

初期設定ではデモモードは【10分】に設定されています。

デモモード中、本機のいずれかのノブやボタンを操作すると、デモモードが解除されます。

- **【1分】**：1 分間本機を操作しなかった場合、デモモードが開始されます。
- **【5分】**：5 分間本機を操作しなかった場合、デモモードが開始されます。
- **【10分】**：10 分間本機を操作しなかった場合、デモモードが開始されます。
- **【無効】**：デモモードは開始されません。

djay for iOS/Android を使用する

djay for iOS/Android をインストールする

djay for iOS/Android を準備する

djay for iOS/Androidをはじめてお使いになるお客様は、本手順に従って最新版の djay for iOS/Androidをインストールしてください。

djay for iOS/Androidを既にインストールされているお客様は、App StoreまたはGoogle Playで最新版にアップデートしてください。

- モバイルデバイスやその他に必要なインターネット利用環境はお客様でご用意ください。
-

インストール手順について

お客様がお使いになるモバイルデバイスのオペレーティングシステム（OS）により、インストールの手順が異なります。

❖ インストール手順（iOS または iPadOS）

1 下記のQRコードまたはURLにアクセスしてApp Storeを開く



<https://www.algoriddim.com/store/djay-ios>

djay for iOS/Android を使用する

2 【入手】をタップして djay for iOS をインストールする

インストールが終わると【開く】に変わります。タップして djay for iOS を開始してください。

❖ インストール手順（Android）

1 下記のQRコードまたはURLにアクセスして Google Play を開く



<https://www.algoriddim.com/store/djay-android>

2 【インストール】をタップして djay for Android をインストールする

インストールが終わると【開く】に変わります。タップして djay for Android を開始してください。

操作する（基本編）

djay for iOS/Android を起動する

djay アイコンをタップしてください。



djay

本機とモバイルデバイスを接続する

❖ USB ケーブルで接続する

USB ケーブルで本機の USB 端子とモバイルデバイスを接続する

❖ Bluetooth で接続する

- 1 本機の USB 端子に電源アダプターやモバイルバッテリーを接続して電源をオンにする
- 2 djay メイン画面上部の  をタップし、 をタップする
[設定]画面に切替わります。
- 3 [MIDI デバイス] をタップする
- 4 [Bluetooth MIDI デバイス] をタップする

djay for iOS/Android を使用する

5 [DDJ-FLX2]をタップする

本機がモバイルデバイスとBluetooth接続されます。

接続が完了すると、本機のBluetooth MIDI インジケーターが点滅から点灯に切り替わります。

- Bluetooth MIDI デバイス画面には、「DDJ-FLX2_X」(Xは1～16までの数字) のように表示される場合があります。

🔄 「Bluetooth MIDI デバイス名を変更する」(132 ページ)

トラックをデッキにロードする

1 djay メイン画面上部にある🎵をタップする

ブラウザ画面に切り替わります。



2 ロードしたいトラックをタップする

トラックがデッキにロードされます。

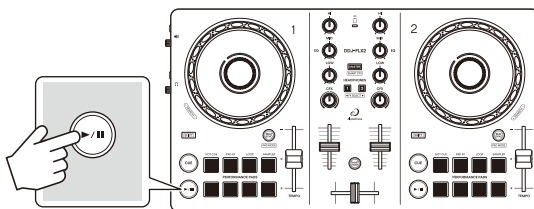
トラックを再生する

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

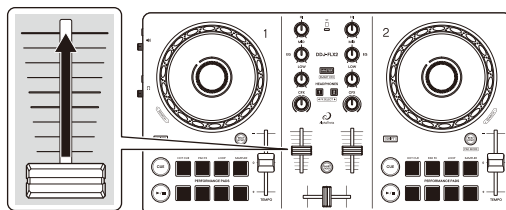
1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

- EQ [HI、MID、LOW] ノブ：中心位置
- [CFX] ノブ：中心位置
- チャンネルフェーダー：手前側の位置
- [🔊] (マスターレベル) ノブ：左に回しきった位置
- クロスフェーダー：中心位置

2 [▶/⏸] (再生／一時停止) ボタンを押してトラックを再生する



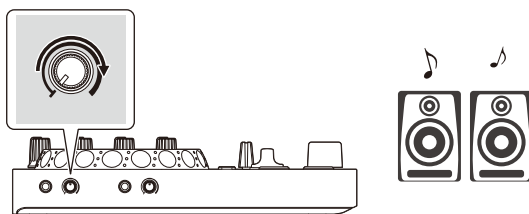
3 チャンネルフェーダーを奥側に動かす



4 スピーカーの音声レベルを調整する

USBケーブル接続時

【】(マスター) 出力端子から出力される音声レベルを【】(マスターレベル) ノブをまわして適切な音量に調整します。



- 【】(マスター) 出力端子から音声が出力されないときや、本機をモバイルデバイスに接続しても認識しないときなどは、「故障かな?と思ったら」(133 ページ) を参照してください。

Bluetooth接続時

音声はモバイルデバイスから出力されます。

- 【】(マスターレベル) ノブではなく、モバイルデバイスのスピーカーの音量を調節してください。

USB ケーブル接続時に、ヘッドホンで音声をモニターする

本機をモバイルデバイスとUSBケーブルで接続した場合、本機の[Ω(ヘッドホン)]出力端子からヘッドホンでモニターすることができます。

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

- 1 ヘッドホンを本機に接続する
- 2 [Ω(ヘッドホンレベル)]ノブを左に回しきった位置に設定する
- 3 チャンネル1のヘッドホン[CUE]ボタンを押す
- 4 [Ω(ヘッドホンレベル)]ノブを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

Bluetooth 接続時に、ヘッドホンで音声をモニターする

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

- 1 モバイルデバイスにスプリットケーブル（市販品）を接続する
 - スプリットケーブルは、ステレオヘッドホン出力端子から出力される音声をLチャンネルとRチャンネルに分岐させるためのケーブルです。
- 2 スプリットケーブルのLチャンネルにスピーカーを、Rチャンネルにヘッドホンを接続する
 - 本機の[◀▶(マスター)]出力端子と[Ω(ヘッドホン)]出力端子は使いません。
- 3 djay メイン画面上部のをタップし、をタップする

4 設定画面でスプリット機能を有効にする

- スプリットケーブル（市販品）を使ってマスター音声とヘッドホンモニター用音声を出力させる場合は、スプリット機能を有効にします。

djay for iOS

[設定] > [オーディオ機器セットアップ] > [モニター] > [スプリット機能] で設定します。

djay for Android

[設定] > [スプリットアウトプット] で設定します。

5 本機のチャンネル1のヘッドホン[CUE]ボタンを押す

6 設定画面で音量を調整する

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

djay for iOS

[設定] > [オーディオ機器セットアップ] > [モニター] > [スプリット機能] で調整します。

djay for Android

[設定] > [スプリットアウトプット] で調整します。

Android 端末で正しくステレオ出力されない場合

[Android MONO/STEREO] の設定を [STEREO] にしたとき、一部の端末では本機と正しく接続されず、正常なステレオ音声出力されない場合があります。その際は [Android MONO/STEREO] の設定を [MONO] にすると正しく出力できる場合があります。

☞ 「本機の設定を変更する」 (129 ページ)

本機の電源をオフにする

USB ケーブルを抜いて本機の電源をオフにしてください。

操作する（応用編）

パッドモードを切替える

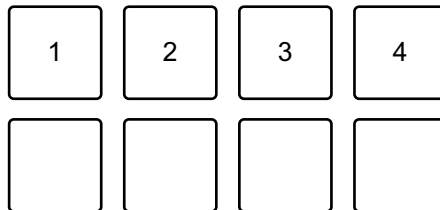
パフォーマンスパッドを使用してHOT CUEモード、PAD FXモード、AUTO LOOPモード、SAMPLERモードに切替えることができます。

1 [SHIFT]ボタンを押しながら[BEAT SYNC]ボタンを押す

パッドモードを選択できる状態に切替わります。

各パッドモードは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられています。

- 再度[SHIFT]ボタンを押しながら[BEAT SYNC]ボタンを押すと直前の状態に戻ります。



1 : HOT CUEモード、2 : PAD FXモード、3 : AUTO LOOPモード、
4 : SAMPLERモード

2 パフォーマンスパッド1～4のいずれかを押す

パッドを押したパッドモードに切替わります。

PERFORMANCE PADS を使う

❖ HOT CUE を使う

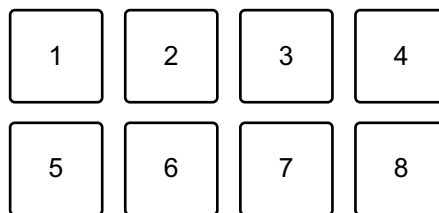
ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。

- ホットキューポイントは1トラックにつき8か所まで設定および保存できます。

1 「パッドモードを切替える」(63 ページ) の手順に従ってHOT CUE モードに切替える

2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

パッドの設定は以下のようになります。



1：ホットキュー A、2：ホットキュー B、3：ホットキュー C、4：ホットキュー D、
5：ホットキュー E、6：ホットキュー F、7：ホットキュー G、8：ホットキュー H

3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

❖ PAD FX を使う

パフォーマンスパッドを押す / 離すだけの簡単な操作で幅広いエフェクトパフォーマンスができます。

1 「パッドモードを切替える」(63 ページ) の手順に従ってPAD FXモードに切替える

2 パフォーマンスパッドを押し続ける、または一度押す

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

パッドの設定は以下のようになります。

1	2	3	4
5	6	7	8

1：エフェクトA、2：エフェクトB、3：エフェクトC、4：エフェクトD、
5：エフェクトE、6：エフェクトF、7：エフェクトG、8：エフェクトH

3 パフォーマンスパッドから指を離す、またはもう一度押す

エフェクトがオフになります。

❖ AUTO LOOP を使う

パフォーマンスパッドを押すと、パフォーマンスパッドに割り当てられている拍数のループが設定され、パフォーマンスパッドを離してもループ再生を続けます。

1 「パッドモードを切替える」(63 ページ) の手順に従って AUTO LOOP モードに切替える

2 再生中にパフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに割り当てられている拍数のループ再生を開始します。

- もう一度同じパフォーマンスパッドを押すと、ループ再生を解除します。

パッドの設定は以下のようになります。

1	2	3	4
5	6	7	8

1 : 1/8 拍、2 : 1/4 拍、3 : 1/2 拍、4 : 1 拍、
5 : 2 拍、6 : 4 拍、7 : 8 拍、8 : 16 拍

❖ SAMPLER を使う

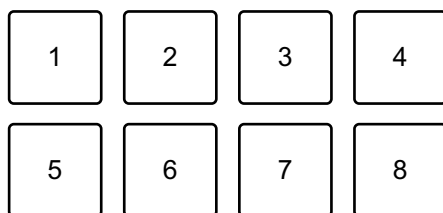
サンプラーのサンプラーズロットにロードされているトラックを、パフォーマンスパッドで再生できます。

1 「パッドモードを切替える」(63 ページ) の手順に従って SAMPLER モードに切替える

2 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたロットの音声を再生します。

- サンプラーズロットは以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。(括弧内はデッキ 2 のパッドモードがサンプラーモードのとき)



1：スロット1（スロット9）、2：スロット2（スロット10）、
3：スロット3（スロット11）、4：スロット4（スロット12）、
5：スロット5（スロット13）、6：スロット6（スロット14）、
7：スロット7（スロット15）、8：スロット8（スロット16）

- OS や設定によって表示や動作が異なる場合があります。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、再生中のロットの音声を停止します。

FADER START 機能を使う

❖ CH FADER START 機能を使う

1 テンポラリーキューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

2 [SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす

設定したテンポラリーキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーの位置を一番手前に戻すと、設定されているテンポラリーキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります（バックキュー）。

テンポラリーキューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

❖ CROSSFADER START 機能を使う

1 テンポラリーキューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

2 クロスフェーダーを動かして、左端または右端の位置にする

フェーダースタートさせたいチャンネルが設定されている側とは反対側の端に設定します。

3 [SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーを左端または右端の位置から逆側に動かす

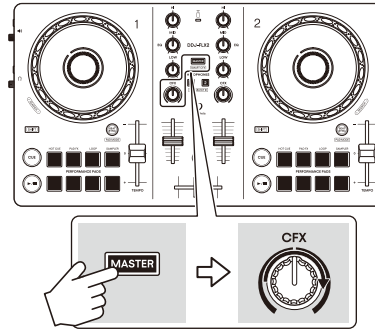
設定したテンポラリーキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーの位置を元の位置に戻すと、設定されているテンポラリーキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります（バックキュー）。

テンポラリーキューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

SMART CFX を使う

[CFX]ノブに連動して、曲を盛り上げるために最適な効果を付与することができるエフェクトです。



1 [SHIFT]ボタンを押しながらヘッドホン[CUE]ボタンを押す

SMART CFXの種類が選択されます。

- チャンネル1のヘッドホン[CUE]ボタンを押すとプリセット1（Riser/Stutterタイプ）、チャンネル2のヘッドホン[CUE]ボタンを押すとプリセット2（Hydrant/Landingタイプ）が選択されます。

2 [SHIFT]ボタンを押しながら[MASTER CUE]ボタンを押す

選択中のSMART CFXをオンします。

3 [CFX]ノブを回す

現在再生中の曲にエフェクトがかかります。

[CFX]ノブを回す操作に合わせて、エフェクト音の効果が変化します。

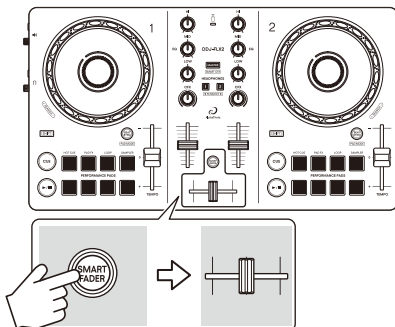
- ノブがセンター位置のときエフェクトはかかりません。

4 もう一度[SHIFT]ボタンを押しながら[MASTER CUE]ボタンを押す

SMART CFXをオフにします。

Crossfader Fusion を使う

クロスフェーダーに連動して、前の曲と次の曲をミックスするために最適な効果を付与することができるエフェクトです。



1 [SMART FADER] ボタンを押す

Crossfader Fusion をオンします。

- [SHIFT] を押しながら [SMART FADER] ボタンを押すと、エフェクトの種類を切替えることができます。

2 クロスフェーダーを操作する

フェーダー操作に応じて、自動でエフェクトがかかります。

3 もう一度 [SMART FADER] ボタンを押す

Crossfader Fusion をオフにします。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

rekordbox for Mac/Windows をインストールする

rekordbox for Mac/Windows を準備する

rekordbox for Mac/Windows をはじめてお使いになるお客様は、本手順に従って最新版の rekordbox for Mac/Windows をインストールしてください。

rekordbox for Mac/Windows を既にインストールされているお客様は、rekordbox for Mac/Windows 起動時に表示されるアップデートマネージャーから最新版にアップデートしてください。

- PC/Mac、ネットワーク機器、その他のインターネット利用環境はお客様でご用意ください。

インストール手順について

お客様がお使いになる PC/Mac のオペレーティングシステム（OS）により、インストールの手順が異なります。

❖ インストール手順（Mac）

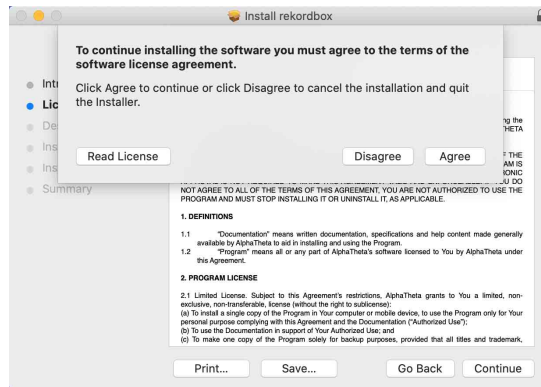
インストールが完了するまでは、本機と Mac を接続しないでください。

- Mac 上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

- 1 ダウンロードした rekordbox for Mac/Windows ソフトウェアファイルを解凍する
- 2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる

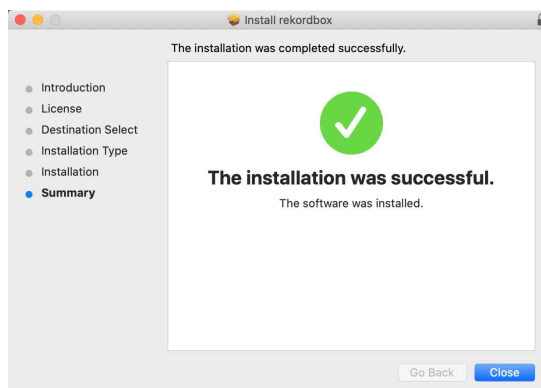
rekordbox for Mac/Windows を使用する

3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[同意する]をクリックする



- 使用許諾契約の内容に同意しないときは[同意しない]をクリックしてインストールを中止してください。

4 インストール完了画面が表示されたら、[閉じる]をクリックしてrekordbox for Mac/Windows インストーラーを終了させる



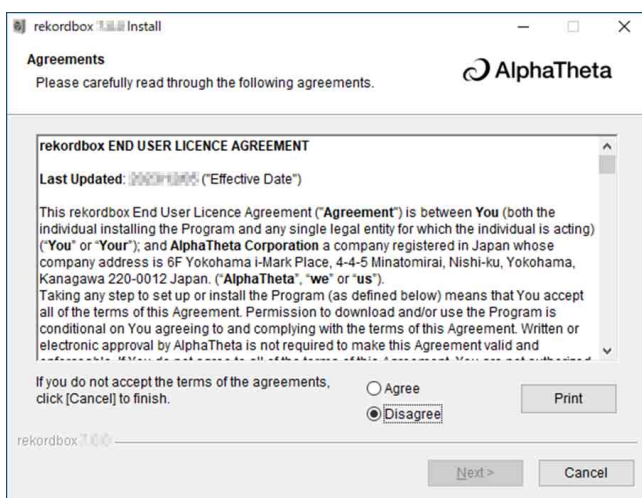
rekordbox for Mac/Windows を使用する

❖ インストール手順（Windows）

インストールが完了するまでは、本機とPCを接続しないでください。

- PCの管理者に設定されているユーザーでログイン（またはログオン）してからインストールしてください。
- PCで他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

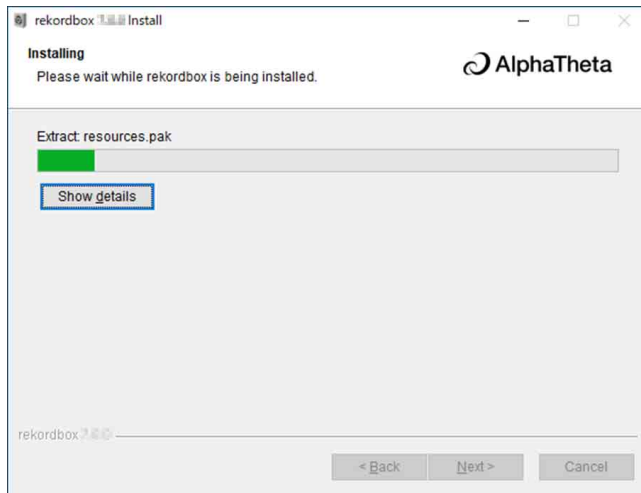
- 1 ダウンロードしたrekordbox for Mac/Windowsソフトウェアファイルを解凍する
- 2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる
- 3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[同意します]を選択し、[次へ]をクリックする



- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、[キャンセル]をクリックしてインストーラーを中止してください。

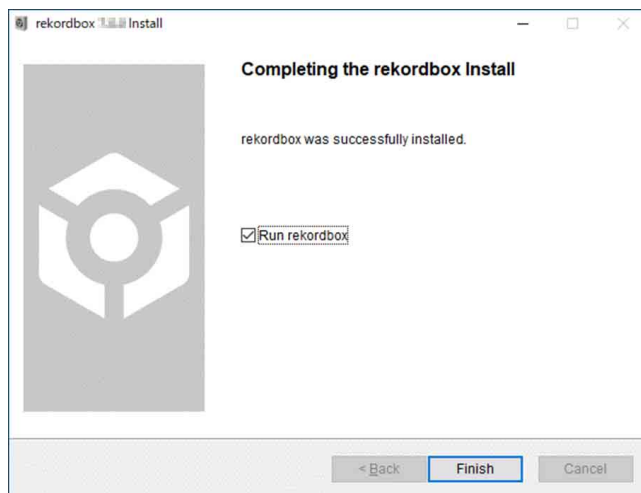
rekordbox for Mac/Windows を使用する

- インストール先を指定後、インストールが始まります。



インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

4 [完了]をクリックしてrekordbox for Mac/Windows インストーラーを終了させる



以上でインストールは完了です。

操作する（基本編）

rekordbox for Mac/Windows を起動する

rekordbox for Mac/Windows を使用するためには、AlphaTheta アカウントを登録する必要があります。

詳細は rekordbox イン트로ダクションをご覧ください。

Mac のとき

Finder で **【アプリケーション】** を選び、**【rekordbox 7】** フォルダーをクリックしたあと、rekordbox.app をダブルクリックする。

Windows 11 のとき

【スタート】 メニューから、**【すべてのアプリ】 > 【rekordbox】 > 【rekordbox 7】** のアイコンをクリックする

Windows 10 のとき

【スタート】 メニューから、**【rekordbox】 > 【rekordbox 7】** のアイコンをクリックする

オーディオ設定を確認する

rekordbox for Mac/Windows の【環境設定】内にある【オーディオ】設定が下記の通りに設定されていることをご確認ください。

Mac のとき

【オーディオ】：【DDJ-FLX2】

【出力チャンネル】：

 【Master Output】：【DDJ-FLX2 : MASTER + Mac 内のオーディオデバイス名】

 【Headphones Output】：【DDJ-FLX2 : PHONES】

- PC MASTER OUT がオフの場合は、【オーディオ】設定内の【Master Output】の項目が【DDJ-FLX2 : MASTER】になります。

Windows のとき

【オーディオ】：【DDJ-FLX2 WASAPI】

【出力チャンネル】：

 【Master Output】：【DDJ-FLX2 WASAPI : MASTER + PC 内のオーディオデバイス名】

 【Headphones Output】：【DDJ-FLX2 WASAPI : PHONES】

- PC MASTER OUT がオフの場合は、【オーディオ】設定内の【Master Output】の項目が【DDJ-FLX2 WASAPI : MASTER】になります。
- PC MASTER OUT は、PC/Mac のスピーカーからマスター音声を出力する機能です。初期設定では PC MASTER OUT はオンになっています。
- PC/Mac のスピーカーからマスター音声を出力させたくない場合は、右上の  をクリックして消灯の状態にしてください。

楽曲ファイルを【コレクション】に追加する

【コレクション】とは、rekordbox for Mac/Windows が管理する楽曲ファイル一覧を表示する画面です。

PC/Mac 内にある楽曲ファイルを rekordbox for Mac/Windows の楽曲コレクションとして登録し、解析することで、rekordbox for Mac/Windows でそのトラックを使用できます。

1 ツリービューの【コレクション】をクリックする

【コレクション】内に登録されているトラックリストが表示されます。

2 Finder または Windows エクスプローラーを開いて、楽曲ファイルや楽曲ファイルを含むフォルダーをトラックリストにドラッグ&ドロップする

楽曲ファイルが【コレクション】に追加され、楽曲ファイルの解析が始まります。すべての楽曲ファイルの解析が終わるまでお待ちください。

トラックをデッキにロードする

【コレクション】内のトラックを選択し、デッキのトラック情報パネルへドラッグ&ドロップします。

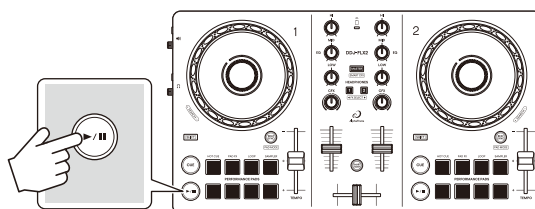
トラックを再生する

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

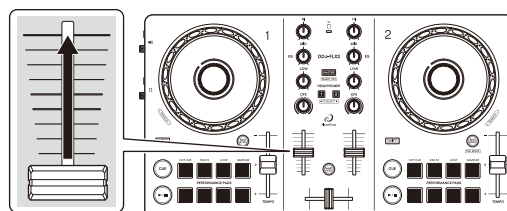
1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

- EQ [HI、MID、LOW] ノブ：中心位置
- [CFX] ノブ：中心位置
- チャンネルフェーダー：手前側の位置
- [🔊] (マスターレベル) ノブ：左に回しきった位置
- クロスフェーダー：中心位置

2 [▶/⏏ (再生／一時停止)] ボタンを押してトラックを再生する



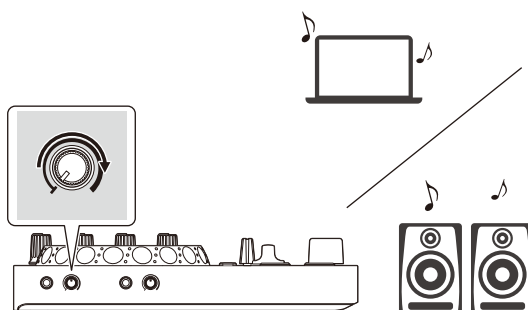
3 チャンネルフェーダーを奥側に動かす



rekordbox for Mac/Windows を使用する

4 【🔊】(マスターレベル) ノブを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

【🔊】(マスター) 出力端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整します。



- PC/Macのスピーカーから音声を入力する場合は、【🔊】(マスターレベル) ノブではなく、PC/Macのスピーカーの音量を調節してください。
- 【🔊】(マスター) 出力端子から音声が入力されないときや、本機をPC/Macに接続しても認識しないときなどは、AlphaThetaサポートページへアクセスして、【よくある質問 (FAQ)】を確認してください。

alphatheta.com/support/Japan/

rekordbox for Mac/Windows を使用する

ヘッドホンで音声をモニターする

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

- 1  (ヘッドホンレベル) ノブを左に回しきった位置に設定する
- 2 チャンネル1のヘッドホン[CUE]ボタンを押す
- 3  (ヘッドホンレベル) ノブを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

rekordbox for Mac/Windows を終了する

[×]ボタンをクリックする、またはメニューから[ファイル]>[終了]を選ぶ

本機の電源をオフにする

USBケーブルを抜いて本機の電源をオフにしてください。

操作する（応用編）

パッドモードを切替える

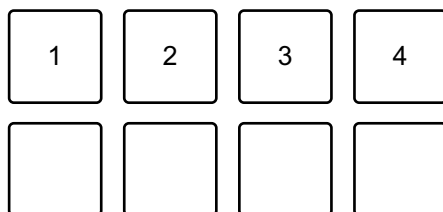
パフォーマンスパッドを使用してHOT CUEモード、PAD FXモード、BEAT LOOPモード、SAMPLERモードに切替えることができます。

1 [SHIFT]ボタンを押しながら[BEAT SYNC]ボタンを押す

パッドモードを選択できる状態に切替わります。

各パッドモードは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられています。

- 再度[SHIFT]ボタンを押しながら[BEAT SYNC]ボタンを押すと直前の状態に戻ります。



1 : HOT CUEモード、2 : PAD FXモード、3 : BEAT LOOPモード、
4 : SAMPLERモード

2 パフォーマンスパッド1～4のいずれかを押す

パッドを押したパッドモードに切替わります。

PERFORMANCE PADS を使う

❖ HOT CUE を使う

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。またホットキューのほかに、ループを設定し瞬時に呼び出すこともできます。

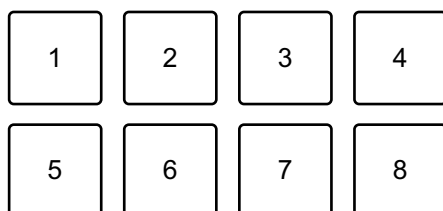
- rekordbox for Mac/Windows では、ホットキューポイントは1曲につき、16か所まで設定および保存できますが、本機からは8か所まで設定および保存することができます。

HOT CUE を設定して呼び出す

1 「パッドモードを切替える」(81 ページ) の手順に従ってHOT CUE モードに切替える

2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

各ホットキューポイントは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。



1：ホットキュー A、2：ホットキュー B、3：ホットキュー C、4：ホットキュー D、
5：ホットキュー E、6：ホットキュー F、7：ホットキュー G、8：ホットキュー H

3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

BEAT LOOP を設定して呼び出す

1 「パッドモードを切替える」(81 ページ) の手順に従って BEAT LOOP モードに切替える

2 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた拍数でループが設定されます。

☞ 「BEAT LOOP を使う」(86 ページ)

3 「パッドモードを切替える」(81 ページ) の手順に従って HOT CUE モードに切替える

4 パフォーマンスパッドを押す

HOT CUE モードで押されたパッドにループが設定されます。

5 ループが設定されたパフォーマンスパッドを押す

設定されたループのループインポイントからループ再生が始まります。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたループを消去できます。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

❖ PAD FX を使う

パフォーマンスパッドを押す / 離すだけの簡単な操作で幅広いエフェクトパフォーマンスができます。

1 「パッドモードを切替える」(81 ページ) の手順に従ってPAD FXモードに切替える

エフェクトが以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。

1	2	3	4
5	6	7	8

[SHIFT] ボタンを押さないとき

1：エフェクトA、2：エフェクトB、3：エフェクトC、4：エフェクトD、
5：エフェクトE、6：エフェクトF、7：エフェクトG、8：エフェクトH

[SHIFT] ボタンを押したとき

1：エフェクトI、2：エフェクトJ、3：エフェクトK、4：エフェクトL、
5：エフェクトM、6：エフェクトN、7：エフェクトO、8：エフェクトP

2 パフォーマンスパッドを押し続ける、または[SHIFT]ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

3 パフォーマンスパッドから指を離す

エフェクトがオフになります。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

PAD FXのRELEASE FXを使う

あらかじめリリースFXをパフォーマンスパッドに割り当てする必要があります。

- 1 リリースFX以外のエフェクトが割り当てられたパフォーマンスパッドを押し続ける、または[SHIFT]ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押し続ける

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

- 2 リリースFXが割り当てられたパフォーマンスパッドを押してから離す、または[SHIFT]ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押してから離す

それまでオンになっていたエフェクトがオフになり、リリースFXの効果が付加されます。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

❖ BEAT LOOP を使う

パフォーマンスパッドを押すとパッドに割り当てられた拍数のループが設定され、パッドから指を離してもループ再生を継続します。

1 「パッドモードを切替える」(81 ページ) の手順に従って BEAT LOOP モードに切替える

BEAT LOOP モードの拍数設定が、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。

1	2	3	4
5	6	7	8

1 : 1/4 拍、2 : 1/2 拍、3 : 1 拍、4 : 2 拍、
5 : 4 拍、6 : 8 拍、7 : 16 拍、8 : 32 拍

2 パフォーマンスパッドを押す

押されたパッドに割り当てられた拍数で、ループ再生します。

3 同じパフォーマンスパッドをもう一度押す

ループ再生が解除されます。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

❖ SAMPLER を使う

サンプラーのサンプラスロットにロードされたトラックを、パフォーマンスパッドで再生できます。

SAMPLER を使う準備をする

rekordbox for Mac/Windows の画面左上  ボタンをクリックして [SAMPLER] パネルを表示する

トラックをサンプラスロットにロードする

- 1 「パッドモードを切替える」(81 ページ) の手順に従って SAMPLER モードに切替える
- 2 rekordbox for Mac/Windows の画面上の [BANK] 表示横のボタンをクリックしてサンプラーのバンクを切替える



rekordbox for Mac/Windows のサンプラーは 4 つのバンクがあり、それぞれのバンクには 16 のスロットがあります。

- 3 トラックリストからサンプラスロットへロードしたいトラックを選択する
- 4 [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押す

選択されたトラックがサンプラスロットにロードされます。

- rekordbox for Mac/Windows の [環境設定] によっては、既にロード済みのサンプラー スロットへ上書きでロードできない場合があります。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

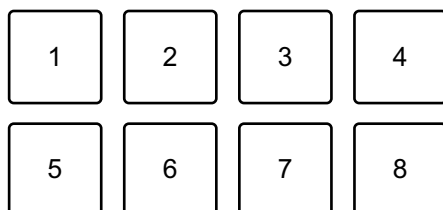
PERFORMANCE PADS を使って SAMPLER を演奏する

- 1 「パッドモードを切替える」(81 ページ) の手順に従って SAMPLER モードに切替える
- 2 rekordbox for Mac/Windows の画面上の [BANK] 表示横のボタンをクリックしてサンプラーのバンクを切替える
- 3 rekordbox for Mac/Windows の画面上のサンプラーゲイン  [GAIN] を調節する

4 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。

- サンプラーズロットは以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。(括弧内はデッキ 2 のパッドモードがサンプラーモードのとき)



1 : スロット 1 (スロット 9)、2 : スロット 2 (スロット 10)、
3 : スロット 3 (スロット 11)、4 : スロット 4 (スロット 12)、
5 : スロット 5 (スロット 13)、6 : スロット 6 (スロット 14)、
7 : スロット 7 (スロット 15)、8 : スロット 8 (スロット 16)

5 サンプラー再生中にパフォーマンスパッドを押す

先頭に戻って再生を続けます。

6 サンプラー再生中に [SHIFT] ボタンを押しながら、パフォーマンスパッドを押す

再生中のスロットの音声を停止します。

FADER START 機能を使う

❖ CH FADER START 機能を使う

1 キューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

2 [SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす

設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーの位置を一番手前に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります(バックキュー)。

キューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

❖ CROSSFADER START 機能を使う

1 キューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

2 クロスフェーダーを動かして、左端または右端の位置にする

フェーダースタートさせたいチャンネルが設定されている側とは反対側の端に設定します。

3 [SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーを左端または右端の位置から逆側に動かす

設定したキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーの位置を元の位置に戻すと、設定されているキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります(バックキュー)。

キューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

トラックを解析する

rekordbox for Mac/Windowsのトラックリストに楽曲ファイルまたは楽曲ファイルの入ったフォルダーをドラッグ&ドロップすると、トラックの解析が始まります。

- 解析が完了する前のトラックをデッキにロードすると、BPMや波形表示に時間がかかる場合があります。
- トラックの数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

SMART CFXを使う

1 [SHIFT]ボタンを押しながらヘッドホン[CUE]ボタンを押す

SMART CFX機能のプリセット画面が表示され、エフェクトの種類を切替えることができます。



2 [SHIFT]ボタンを押しながら[MASTER CUE]ボタンを押す

SMART CFX機能をオンします。

3 [CFX]ノブを回す

ノブを回す操作に合わせて、エフェクトなどの効果が変化します。

- エフェクトの種類によってはエフェクトの他にループやキーを変化させるものもあります。
- SMART CFX機能がオンの間は、rekordbox for Mac/Windowsの画面で操作出来ない機能(一部のエフェクト、トリム)があります。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

❖ SMART CFX を終了する

[SHIFT] ボタンを押しながら [MASTER CUE] ボタンを押す
SMART CFX 機能をオフします。

SMART FADER を使う

1 デッキ1とデッキ2にトラックをロードする

2 [SMART FADER] ボタンを押す

SMART FADER 機能をオンします。

- SMART FADER 機能がオンの間は、ビートシンクがオンに設定されます（オフできません）。
- SMART FADER 機能がオンの間は、rekordbox for Mac/Windows の画面で操作出来ない機能（一部のエフェクト、EQ LOW、ビートシンク）があります。

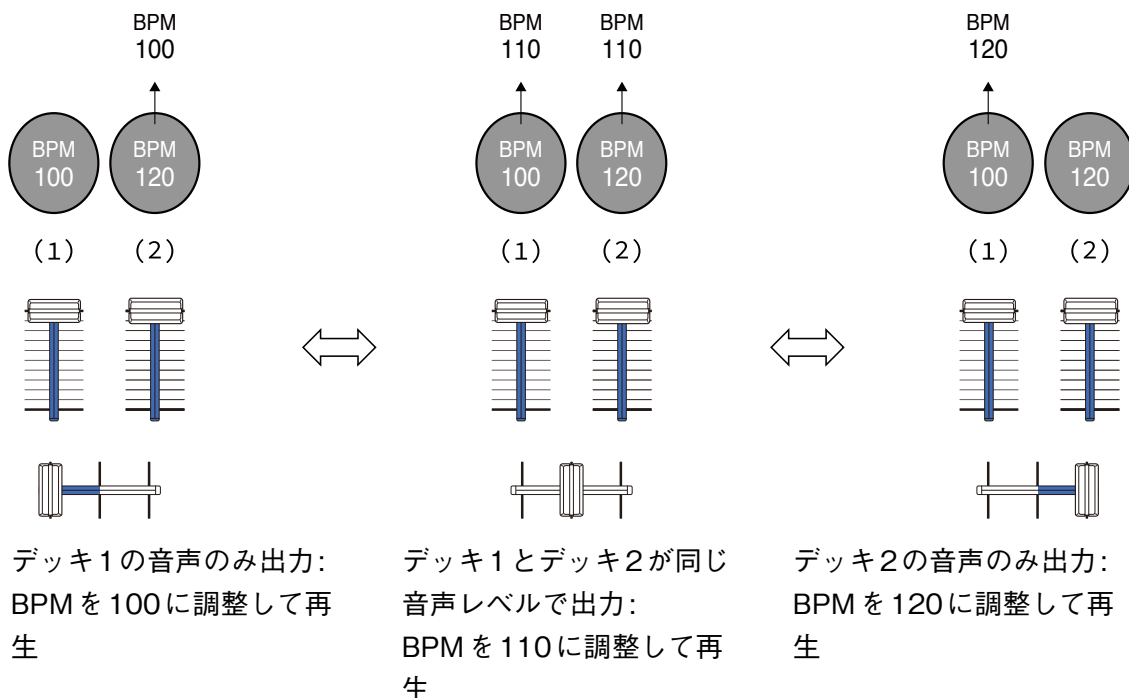
3 チャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーを操作して楽曲をミックスする

- フェーダー操作およびトラックのBPMに応じて、再生するときのBPMを調整します。
- フェーダー操作に応じて、EQ LOWを自動調整します。
- フェーダー操作に応じて、自動でECHOエフェクトをかけます。
- フェーダー操作によってデッキ1の音声のみ出力されているときは、デッキ1のトラックのBPMに、デッキ2の音声のみ出力されているときは、デッキ2のトラックのBPMに調整されます。また、デッキ1とデッキ2が同じ音声レベルで出力されているときは、デッキ1とデッキ2のトラックの中間のBPMに調整されます。
- デッキ1とデッキ2のBPMが大きく離れているときに、テンポレンジ範囲外となりSMART FADER機能が正しく動作しない場合があります。

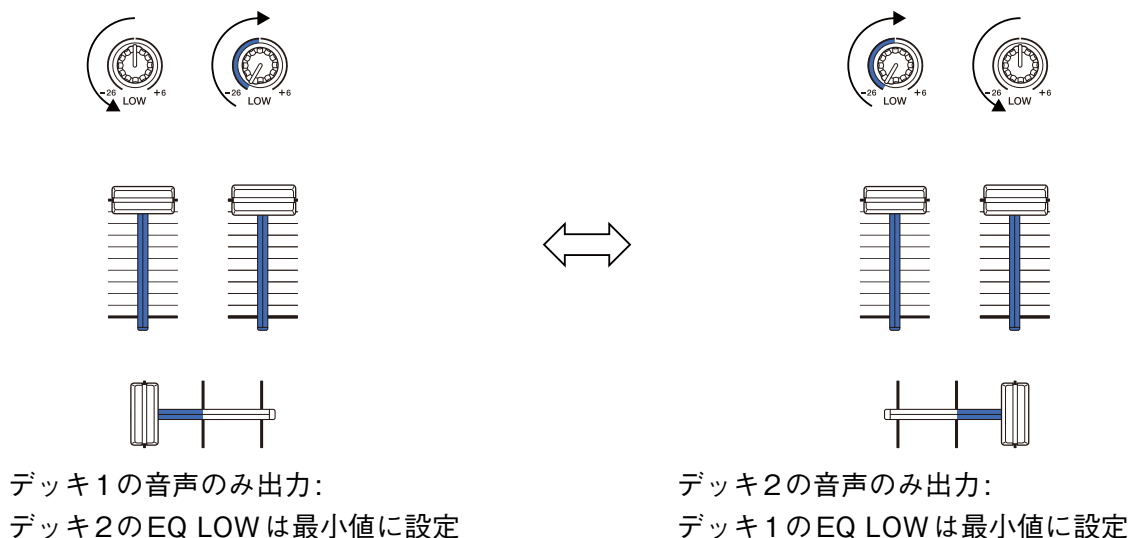
rekordbox for Mac/Windows を使用する

- 操作例

(1) : デッキ1、(2) : デッキ2



本操作例の場合は、100～120の間で線形に変化します。



rekordbox for Mac/Windows を使用する

本操作例の場合は、以下のように変化します。

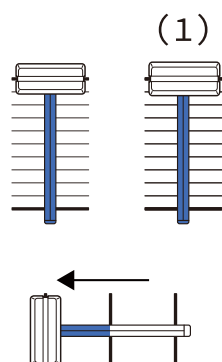
チャンネル1：クロスフェーダー位置が左から1/3～2/3の間にあるとき、EQ LOWのノブの位置がセンター位置から最小値へ変化

チャンネル2：クロスフェーダー位置が左から1/3～2/3の間にあるとき、EQ LOWのノブの位置が最小値からセンター位置へ変化

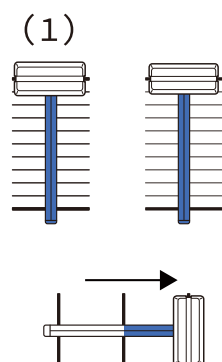
※ EQ LOWの変化カーブは直前のEQ LOWのノブ位置やフェーダー位置によって異なり、スムーズにミックスができるように自動でコントロールされます。

※ 実際のEQ LOWのノブ位置はrekordbox for Mac/Windowsの画面では変化せず、音声のみが変化します。

(1)：ECHO をかける



デッキ1の音声のみ出力：
デッキ2のトラックにECHO
をかける



デッキ2の音声のみ出力：
デッキ1のトラックにECHO
をかける

本操作例の場合は、以下のように変化します。

デッキ1：クロスフェーダーを右端へ移動させたときにECHOがかかります。

※ 右端を起点に左方向へ移動したときにはECHOはかかりません。

デッキ2：クロスフェーダーを左端へ移動させたときにECHOがかかります。

※ 左端を起点に右方向へ移動したときにはECHOはかかりません。

- **【環境設定】**にて、SMART FADER機能进行操作するフェーダーを選択できます。
【コントローラー】>【ミキサー】>【SMART FADER】>【SMART FADERで使用するフェーダー】
- クロスフェーダーでSMART FADER機能进行操作するときは、クロスフェーダーアサインを左側をチャンネル1、右側をチャンネル2に設定しておく必要があります。
クロスフェーダーアサインについてはrekordboxの「操作説明書」をご覧ください。

rekordbox.com/manual

rekordbox for Mac/Windows を使用する

❖ SMART FADERを終了する

[SMART FADER] ボタンを押す

SMART FADER機能をオフします。

rekordbox for Mac/Windows で設定を変更する

DJ プレイに必要な設定を rekordbox for Mac/Windows 上で変更することができます。

【環境設定】の**【コントローラー】**内にある設定項目で変更します。

rekordbox for Mac/Windows と本機を接続した場合のみ、以下の設定を変更することができます。

【コントローラー】内の**【デッキ】**内：

【バックスピンレングス】の設定

本機はジョグをバックスピン操作した際、実際のジョグの回転量よりも長くバックスピンさせることができます。

バックスピンの長さは、ショート／ノーマル／ロングの3種類から選択できます。

- **【ショート】**：バックスピンレングス ショート
- **【ノーマル】**：バックスピンレングス ノーマル
- **【ロング】**：バックスピンレングス ロング

【コントローラー】内の**【ミキサー】**内：

【フェーダースタート】の設定

フェーダースタート機能の設定を変更します。

【SHIFT ボタンを押しながらチャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーを操作した時にフェーダースタート動作する】にチェックを入れると有効になります。

【SMART FADER】の設定

SMART FADER で使用するフェーダーを選択できます。

- **【クロスフェーダーとチャンネルフェーダー】**：クロスフェーダーとチャンネルフェーダーのいずれかの操作によって SMART FADER 機能が動作します。
- **【クロスフェーダー】**：クロスフェーダー操作によって SMART FADER 機能が動作します。
- **【チャンネルフェーダー】**：チャンネルフェーダー操作によって SMART FADER 機能が動作します。

【SMART FADER 推奨カーブを使用する】にチェックを入れると SMART FADER 推奨カーブで動作します。チェックを外すと**【環境設定】>【コントローラー】>【ミキサー】**の**【チャンネルフェーダーカーブ】**、**【クロスフェーダーカーブ】**の設定で動作します。

rekordbox for Mac/Windows を使用する

【コントローラー】内の【エフェクト】内：

【SMART CFX】の設定

SMART CFXのプリセット画面を rekordbox for Mac/Windows の画面内のどの位置に表示するかを**【左上】**、**【右上】**、**【中央】**、**【左下】**、**【右下】**の中から選択できます。

- 初期値では**【中央】**に設定されています。

【コントローラー】内の【DDJ-FLX2】内：

【デモモード】の設定

デモモード開始までの時間の設定を行います。

初期設定ではデモモードは**【10分】**に設定されています。

デモモード中、本機のいずれかのノブやボタンを操作すると、デモモードが解除されます。

- **【1分】**：1 分間本機を操作しなかった場合、デモモードが開始されます。
- **【5分】**：5 分間本機を操作しなかった場合、デモモードが開始されます。
- **【10分】**：10 分間本機を操作しなかった場合、デモモードが開始されます。
- **【無効】**：デモモードは開始されません。

Serato DJ Lite for Mac/Windows を使用する

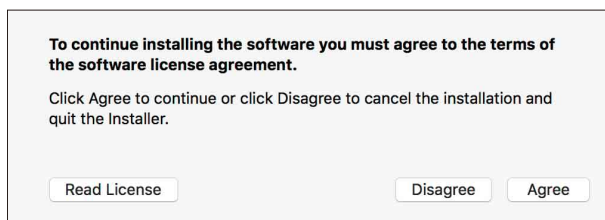
Serato DJ Lite をインストールする

❖ インストール手順（Mac）

インストールが完了するまでは、本機と Mac を接続しないでください。

- Mac 上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

- 1 ダウンロードした Serato DJ Lite ソフトウェアファイルを解凍する
- 2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる
- 3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[同意する]をクリックする

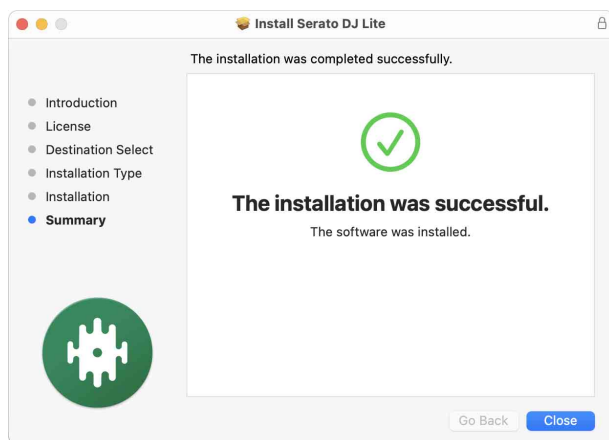


- 使用許諾契約の内容に同意しないときは【同意しない】をクリックしてインストールを中止してください。

- 4 【インストール】をクリックする
- 5 画面の指示に従ってインストールする

Serato DJ Lite for Mac/Windows を使用する

6 【閉じる】をクリックして、インストーラーを終了させる



❖ インストール手順（Windows）

インストールが完了するまでは、本機とPCを接続しないでください。

- PCの管理者に設定されているユーザーでログイン（またはログオン）してからインストールしてください。
- PC上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

1 ダウンロードしたSerato DJ Lite ソフトウェアファイルを解凍する

2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動させる

3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[I agree to the license terms and conditions]を選択し、[Install]をクリックする

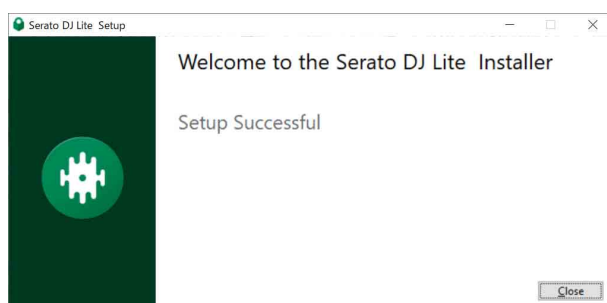
- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、【Close】をクリックしてインストールを中止してください。



Serato DJ Lite for Mac/Windows を使用する

インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

4 [Close]をクリックしてSerato DJ Lite インストーラーを終了させる



操作する（基本編）

Serato DJ Lite を起動する

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しい Serato DJ Lite ソフトウェアの操作については、Serato DJ Lite のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

Mac のとき

Finder で【アプリケーション】フォルダーを開いてから、【Serato DJ Lite】のアイコンをダブルクリックする

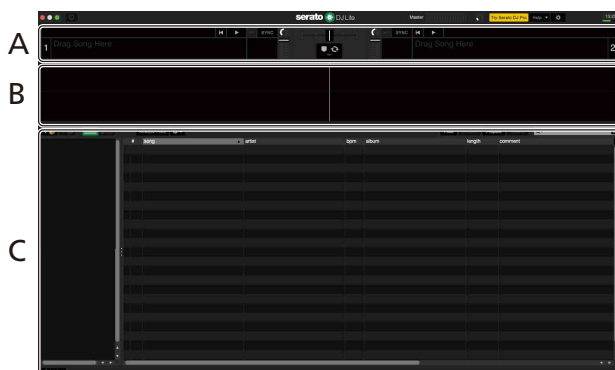
Windows 11 のとき

【スタート】メニューから、【すべてのアプリ】>【Serato】>【Serato DJ Lite】のアイコンをクリックする

Windows 10 のとき

【スタート】メニューから、【Serato】>【Serato DJ Lite】のアイコンをクリックする

Serato DJ Lite ソフトウェア起動直後の PC/Mac 画面



Serato DJ Lite for Mac/Windows を使用する

Serato DJ Lite ソフトウェアにトラックをロードしたときのPC/Mac画面



A デッキ部

ロードされたトラックの曲名、アーティスト名、BPMなどのトラック情報や全体波形などを表示します。

B ウェーブフォームディスプレイ

ロードされたトラックの波形を表示します。

C ブラウズ部

ライブラリの中のトラックや複数のトラックをまとめて保存したcrateを表示します。

Serato DJ Lite for Mac/Windows を使用する

トラックをインポートする

- Serato DJ Lite ソフトウェアでは、さまざまなインポート方法があります。詳細については、Serato DJ Lite のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- すでに Serato Limited 社の DJ ソフトウェア（Scratch Live、ITCH、Serato DJ Intro、Serato DJ、Serato DJ Pro）をお使いのお客様で、トラックライブラリを作成されている場合は、以前作成したトラックライブラリをそのまま使うことができます。
- Serato DJ Intro をお使いのお客様で、すでにトラックライブラリを作成されている場合は、トラックの再解析が必要になる場合があります。

以下では、トラックをインポートする代表的な操作方法について説明します。

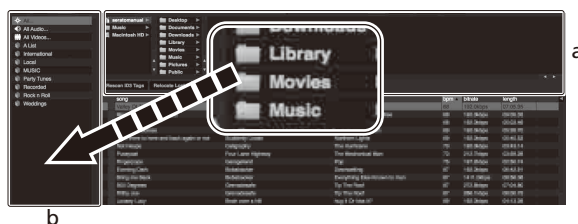
1 Serato DJ Lite ソフトウェア画面の[ファイル]ボタンをクリックして[ファイル]パネルを開く

お使いの PC/Mac および PC/Mac に接続されている周辺機器の中身が[ファイル]パネルに表示されます。

2 [ファイル]パネル内でライブラリに加えたいトラックが含まれているフォルダーをクリックして選択する

3 Serato DJ Lite ソフトウェアの画面上で、選択したフォルダーを crates パネルにドラッグ&ドロップする

crate が作成され、ライブラリにトラックが追加されます。



a [ファイル]パネル

b crates パネル

Serato DJ Lite for Mac/Windows を使用する

トラックをデッキにロードする

インポートしたcrate内のトラックを選択し、Serato DJ Liteのデッキ1へドラッグ&ドロップします。

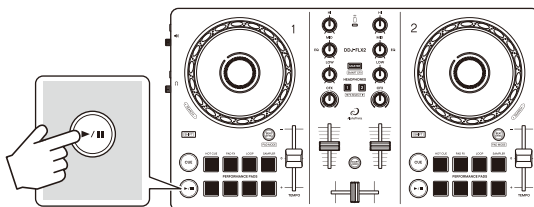
トラックを再生する

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

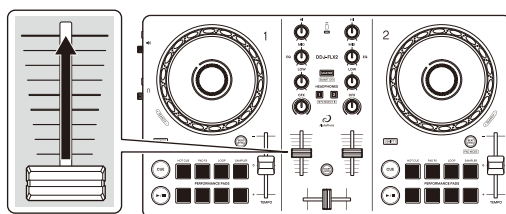
- EQ [HI、MID、LOW] ノブ：中心位置
- [CFX] ノブ：中心位置
- チャンネルフェーダー：手前側の位置
- [🔊] (マスターレベル) ノブ：左に回しきった位置
- クロスフェーダー：中心位置

2 [▶/⏸] (再生／一時停止) ボタンを押してトラックを再生する



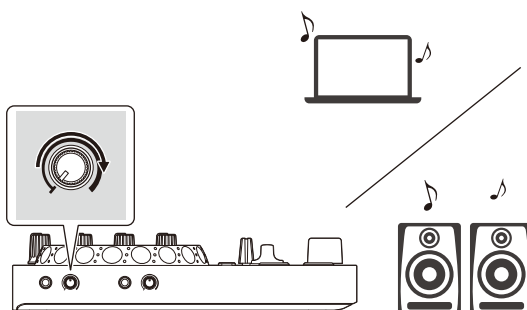
Serato DJ Lite for Mac/Windows を使用する

3 チャンネルフェーダーを奥側に動かす



4 [🔊](マスターレベル) ノブを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

[🔊](マスター) 出力端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整します。



- [🔊](マスター) 出力端子から音声が出力されないときや、本機をPC/Macに接続しても認識しないときなどは、AlphaThetaサポートページへアクセスして、**[よくある質問 (FAQ)]**を確認してください。

alphatheta.com/support/Japan/

Serato DJ Lite for Mac/Windows を使用する

ヘッドホンで音声をモニターする

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

- 1  (ヘッドホンレベル) ノブを左に回しきった位置に設定する
- 2 チャンネル1のヘッドホン[CUE]ボタンを押す
- 3  (ヘッドホンレベル) ノブを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

Serato DJ Lite を終了する

[×]ボタンをクリックする

本機の電源をオフにする

USBケーブルを抜いて本機の電源をオフにしてください。

操作する（応用編）

パッドモードを切替える

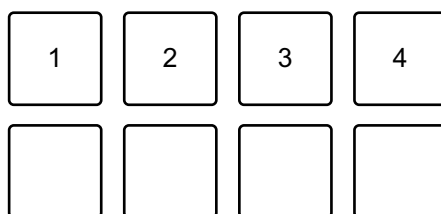
パフォーマンスパッドを使用してHOT CUEモード、PAD FXモード、AUTO LOOPモード、SAMPLERモードに切替えることができます。

1 [SHIFT]ボタンを押しながら[BEAT SYNC]ボタンを押す

パッドモードを選択できる状態に切替わります。

各パッドモードは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられています。

- 再度[SHIFT]ボタンを押しながら[BEAT SYNC]ボタンを押すと直前の状態に戻ります。



1 : HOT CUEモード、2 : PAD FXモード、3 : AUTO LOOPモード、
4 : SAMPLERモード

2 パフォーマンスパッド1～4のいずれかを押す

パッドを押したパッドモードに切替わります。

PERFORMANCE PADS を使う

Serato DJ Lite の機能を基本に記載しています。

Serato DJ Pro にアップグレードした際に使用できる機能の説明文には

Serato DJ Pro を添えています。

❖ HOT CUE を使う

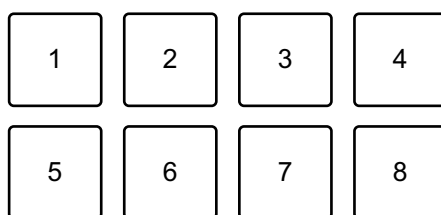
ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。

- ホットキューポイントは1トラックにつき4か所まで設定および保存できます。

1 「パッドモードを切替える」(106 ページ) の手順に従ってHOT CUE モードに切替える

2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

パッドの設定は以下のようになります。



1：ホットキュー A、2：ホットキュー B、3：ホットキュー C、4：ホットキュー D、
5：プレビーストラック、6：サーチ ◀◀、7：サーチ ▶▶、8：Censor

- Censor：パッド8を押している間逆方向に再生し、パッドから指を放すと通常の再生に戻ります。

Serato DJ Pro

1：ホットキュー A、2：ホットキュー B、3：ホットキュー C、4：ホットキュー D、
5：ホットキュー E、6：ホットキュー F、7：ホットキュー G、8：ホットキュー H

3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

Serato DJ Lite for Mac/Windows を使用する

❖ PAD FX を使う

パフォーマンスパッドを押す / 離すだけの簡単な操作で幅広いエフェクトパフォーマンスができます。

1 「パッドモードを切替える」(106 ページ) の手順に従って PAD FX モードに切替える

2 パフォーマンスパッドを押し続ける、または一度押す

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

パッドの設定は以下のようになります。

1	2	3	4
5	6	7	8

1：エフェクトA、2：エフェクトB、3：エフェクトC、4：エフェクトD、
5：プレビアストラック、6：サーチ ◀◀、7：サーチ ▶▶、8：Censor

Serato DJ Pro

1：エフェクトA、2：エフェクトB、3：エフェクトC、4：エフェクトD、
5：エフェクトE、6：エフェクトF、7：エフェクトG、8：エフェクトH

3 パフォーマンスパッドから指を離す、またはもう一度押す

エフェクトがオフになります。

Serato DJ Lite for Mac/Windows を使用する

❖ AUTO LOOP を使う

パフォーマンスパッドを押すと、パフォーマンスパッドに割り当てられている拍数のループが設定され、パフォーマンスパッドを離してもループ再生を続けます。

1 「パッドモードを切替える」(106 ページ) の手順に従って AUTO LOOP モードに切替える

2 再生中にパフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに割り当てられている拍数のループ再生を開始します。

- もう一度同じパフォーマンスパッドを押すと、ループ再生を解除します。

パッドの設定は以下のようになります。

1	2	3	4
5	6	7	8

1 : 1 拍、2 : 2 拍、3 : 4 拍、4 : 8 拍、

5 : プレビアストラック、6 : サーチ ◀◀、7 : サーチ ▶▶、8 : Censor

Serato DJ Pro

1 : 1/8 拍、2 : 1/4 拍、3 : 1/2 拍、4 : 1 拍、

5 : 2 拍、6 : 4 拍、7 : 8 拍、8 : 16 拍

❖ SAMPLER を使う

サンプラーのサンプラーズロットにロードされているトラックを、パフォーマンスパッドで再生できます。

1 Serato DJ Lite 画面で [SAMPLER] パネルを開く

2 「パッドモードを切替える」(106 ページ) の手順に従って SAMPLER モードに切替える

Serato DJ Lite for Mac/Windows を使用する

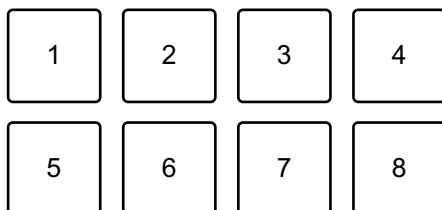
3 Serato DJ Lite画面でライブラリからトラックをドラッグ&ドロップし、 [SAMPLER]パネルの各スロットにトラックをロードする

サンプラーの設定とロードしたトラックが保存されます。

4 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたスロットの音声を再生します。

パッドの設定は以下のようになります。



1：スロット1、2：スロット2、3：スロット3、4：スロット4、
5：プレビアストラック、6：サーチ ◀◀、7：サーチ ▶▶、8：Censor

Serato DJ Pro

1：スロット1、2：スロット2、3：スロット3、4：スロット4、
5：スロット5、6：スロット6、7：スロット7、8：スロット8

- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、再生中のスロットの音声を停止します。

FADER START 機能を使う

❖ CH FADER START 機能を使う

1 テンポラリーキューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

2 [SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす

設定したテンポラリーキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーの位置を一番手前に戻すと、設定されているテンポラリーキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります（バックキュー）。

テンポラリーキューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

❖ CROSSFADER START 機能を使う

1 テンポラリーキューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

2 クロスフェーダーを動かして、左端または右端の位置にする

フェーダースタートさせたいチャンネルが設定されている側とは反対側の端に設定します。

3 [SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーを左端または右端の位置から逆側に動かす

設定したテンポラリーキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーの位置を元の位置に戻すと、設定されているテンポラリーキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります（バックキュー）。

テンポラリーキューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

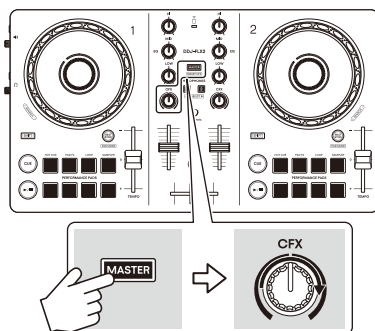
トラックを解析する

Serato DJ Lite の **[Analyze Files]** ボタンをクリックすると、ライブラリの中の未解析のトラックを解析することができます。また、未解析のトラックを **[Analyze Files]** ボタンへドラッグ&ドロップすることで解析することもできます。

- 解析が完了する前のトラックをデッキにロードすると、BPM や波形表示に時間がかかる場合があります。
- トラックの数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

SMART CFX を使う

[CFX] ノブに連動して、曲を盛り上げるために最適な効果を付与することができるエフェクトです。



1 **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[MASTER CUE]** ボタンを押す

選択中の SMART CFX をオンします。

2 **[SHIFT]** ボタンを押しながらヘッドホン **[CUE]** ボタンを押す

SMART CFX の種類が選択されます。

- チャンネル1のヘッドホン **[CUE]** ボタンを押すとプリセット1（ECHO タイプ）、チャンネル2のヘッドホン **[CUE]** ボタンを押すとプリセット2（REVERB タイプ）が選択されます。

Serato DJ Lite for Mac/Windows を使用する

3 [CFX]ノブを回す

現在再生中の曲にエフェクトがかかります。

[CFX]ノブを回す操作に合わせて、エフェクト音の効果が変化します。

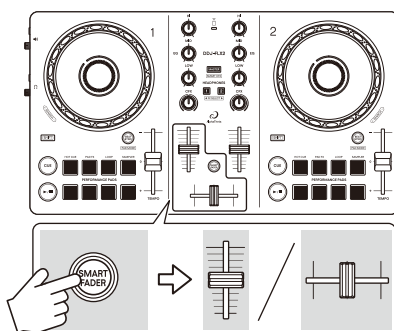
- ノブがセンター位置のときエフェクトはかかりません。

4 もう一度[SHIFT]ボタンを押しながら[MASTER CUE]ボタンを押す

SMART CFX をオフにします。

SMART FADER を使う

クロスフェーダーやチャンネルフェーダーノブに連動して、前の曲と次の曲をミックスするために最適な効果を付与することができるエフェクトです。



1 [SMART FADER]ボタンを押す

プリセット1（ECHO タイプ）の SMART FADER をオンします。

- [SHIFT] を押しながら [SMART FADER] ボタンを押すと、プリセット2（REVERB タイプ）の SMART FADER をオンします。

2 チェンネルフェーダーまたはクロスフェーダーを操作する

フェーダー操作に応じて、自動でエフェクトがかかります。

3 もう一度 [SMART FADER] ボタンを押す

SMART FADER をオフにします。

djay Pro for Mac/Windows を使用する

djay Pro for Mac/Windows をインストールする

❖ インストール手順（Mac）

インストールが完了するまでは、本機と Mac を接続しないでください。

- Mac 上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

1 下記サイトにアクセスする

algoriddim.com

2 「Download on the Mac App Store」をクリックする

App Store が起動します。

3 「入手」をクリックする

djay Pro for Mac がダウンロードおよびインストールされます。

インストールが終わると「開く」に変わります。クリックして djay Pro for Mac を開始してください。

❖ インストール手順（Windows）

インストールが完了するまでは、本機と PC を接続しないでください。

- PC の管理者に設定されているユーザーでログイン（またはログオン）してからインストールしてください。
- PC 上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させてください。

1 下記サイトにアクセスする

algoriddim.com

2 「Get it from Microsoft」をクリックする

Microsoft Store が起動します。

djay Pro for Mac/Windows を使用する

3 【入手】をクリックする

djay Pro for Windows がダウンロードおよびインストールされます。

インストールが終わると【開く】に変わります。クリックして djay Pro for Windows を開始してください。

操作する（基本編）

djay Pro for Mac/Windows を起動する

本書は、本機のハードウェアとしての機能を中心に説明が構成されています。詳しいdjay Pro for Mac/Windows ソフトウェアの操作については、djay Pro for Mac/Windows のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

Mac のとき

Finder で **[アプリケーション]** フォルダーを開いてから、**[djay Pro]** のアイコンをダブルクリックする

Windows 11 のとき

[スタート] メニューから、**[すべてのアプリ] > [djay Pro]** のアイコンをクリックする

Windows 10 のとき

[スタート] メニューから、**[djay Pro]** のアイコンをクリックする

djay Pro for Mac/Windows を使用する

トラックをインポートする

- djay Pro for Mac/Windows ソフトウェアでは、さまざまなインポート方法があります。
詳細については、djay Pro for Mac/Windows のソフトウェアマニュアルをご覧ください。
以下では、トラックをインポートする代表的な操作方法について説明します。

- 1 **djay Pro for Mac/Windows ソフトウェア画面のをクリックする**
- 2 **Finder または Windows エクスプローラーを開き、インポートしたいトラックまたはフォルダを選択する**
- 3 **djay Pro のブラウザーツリーのインポートしたい場所を選択したトラックまたはフォルダをドラッグ&ドロップする**

djay Pro for Mac/Windows にトラックが追加されます。

トラックをデッキにロードする

インポートしたトラックを選択し、djay Pro for Mac/Windows のデッキ1へドラッグ&ドロップします。

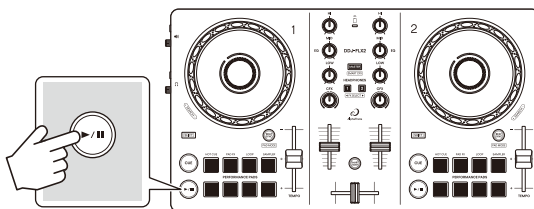
トラックを再生する

以下では、デッキ1（左側）の音声を出力する方法を例にして説明します。

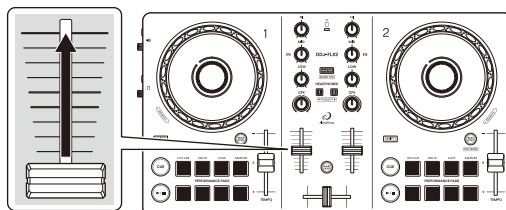
1 以下のように、ノブなどの位置を設定する

- EQ [HI、MID、LOW] ノブ：中心位置
- [CFX] ノブ：中心位置
- チャンネルフェーダー：手前側の位置
- [🔊] (マスターレベル) ノブ：左に回しきった位置
- クロスフェーダー：中心位置

2 [▶/⏸] (再生／一時停止) ボタンを押してトラックを再生する



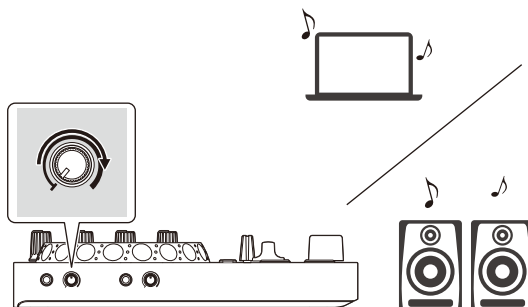
3 チャンネルフェーダーを奥側に動かす



djay Pro for Mac/Windows を使用する

4 【🔊】(マスターレベル) ノブを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

【🔊】(マスター) 出力端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整します。



- 【🔊】(マスター) 出力端子から音声が出力されないときや、本機をPC/Macに接続しても認識しないときなどは、AlphaThetaサポートページへアクセスして、**よくある質問 (FAQ)**を確認してください。

alphatheta.com/support/Japan/

djay Pro for Mac/Windows を使用する

ヘッドホンで音声をモニターする

以下では、デッキ1（左側）の音声を入力する方法を例にして説明します。

- 1 **[ (ヘッドホンレベル)]**ノブを左に回しきった位置に設定する
- 2 チャンネル1のヘッドホン[CUE]ボタンを押す
- 3 **[ (ヘッドホンレベル)]**ノブを回す

ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整します。

djay Pro for Mac/Windows を終了する

[×]ボタンをクリックする

本機の電源をオフにする

USBケーブルを抜いて本機の電源をオフにしてください。

操作する（応用編）

パッドモードを切替える

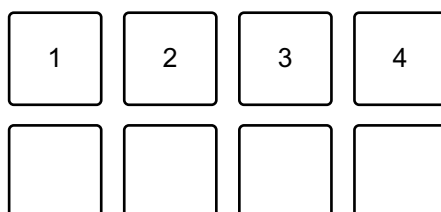
パフォーマンスパッドを使用してHOT CUEモード、PAD FXモード、AUTO LOOPモード、SAMPLERモードに切替えることができます。

1 [SHIFT]ボタンを押しながら[BEAT SYNC]ボタンを押す

パッドモードを選択できる状態に切替わります。

各パッドモードは、以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられています。

- 再度[SHIFT]ボタンを押しながら[BEAT SYNC]ボタンを押すと直前の状態に戻ります。



1 : HOT CUEモード、2 : PAD FXモード、3 : AUTO LOOPモード、
4 : SAMPLERモード

2 パフォーマンスパッド1～4のいずれかを押す

パッドを押したパッドモードに切替わります。

PERFORMANCE PADS を使う

❖ HOT CUE を使う

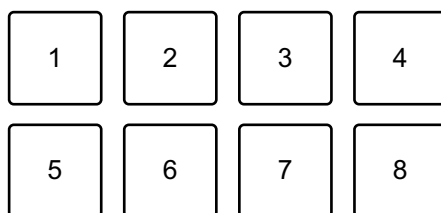
ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。

- ホットキューポイントは1トラックにつき8か所まで設定および保存できます。

1 「パッドモードを切替える」(121 ページ) の手順に従ってHOT CUE モードに切替える

2 再生中または一時停止中にパフォーマンスパッドを押して、ホットキューポイントを設定する

パッドの設定は以下のようになります。



1：ホットキュー A、2：ホットキュー B、3：ホットキュー C、4：ホットキュー D、
5：ホットキュー E、6：ホットキュー F、7：ホットキュー G、8：ホットキュー H

3 ホットキューポイントが設定されたパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生が始まります。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されたホットキューポイントを消去できます。

djay Pro for Mac/Windows を使用する

❖ PAD FX を使う

パフォーマンスパッドを押す / 離すだけの簡単な操作で幅広いエフェクトパフォーマンスができます。

1 「パッドモードを切替える」(121 ページ) の手順に従って PAD FX モードに切替える

2 パフォーマンスパッドを押し続ける、または一度押す

押されたパッドに割り当てられたエフェクトと拍数設定で、エフェクトをオンにします。

パッドの設定は以下のようになります。

1	2	3	4
5	6	7	8

1：エフェクトA、2：エフェクトB、3：エフェクトC、4：エフェクトD、
5：エフェクトE、6：エフェクトF、7：エフェクトG、8：エフェクトH

3 パフォーマンスパッドから指を離す、またはもう一度押す

エフェクトがオフになります。

djay Pro for Mac/Windows を使用する

❖ AUTO LOOP を使う

パフォーマンスパッドを押すと、パフォーマンスパッドに割り当てられている拍数のループが設定され、パフォーマンスパッドを離してもループ再生を続けます。

1 「パッドモードを切替える」(121 ページ) の手順に従って AUTO LOOP モードに切替える

2 再生中にパフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに割り当てられている拍数のループ再生を開始します。

- もう一度同じパフォーマンスパッドを押すと、ループ再生を解除します。

パッドの設定は以下のようになります。

1	2	3	4
5	6	7	8

1 : 1/8 拍、2 : 1/4 拍、3 : 1/2 拍、4 : 1 拍、
5 : 2 拍、6 : 4 拍、7 : 8 拍、8 : 16 拍

djay Pro for Mac/Windows を使用する

❖ SAMPLER を使う

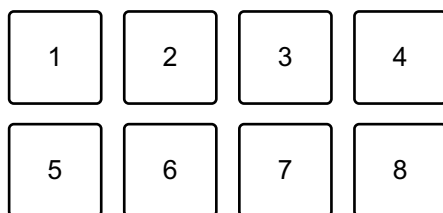
サンプラーのサンプラーズロットにロードされているトラックを、パフォーマンスパッドで再生できます。

1 「パッドモードを切替える」(121 ページ) の手順に従って SAMPLER モードに切替える

2 パフォーマンスパッドを押す

押したパッドに割り当てられたロットの音声を再生します。

- サンプラーズロットは以下のようにパフォーマンスパッドの各パッドに割り当てられます。(括弧内はデッキ 2 のパッドモードがサンプラーモードのとき)



1：ロット1（ロット9）、2：ロット2（ロット10）、
3：ロット3（ロット11）、4：ロット4（ロット12）、
5：ロット5（ロット13）、6：ロット6（ロット14）、
7：ロット7（ロット15）、8：ロット8（ロット16）

- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、再生中のロットの音声を停止します。

FADER START 機能を使う

❖ CH FADER START 機能を使う

1 テンポラリーキューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

2 [SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす

設定したテンポラリーキューポイントからトラックの再生を始めます。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーの位置を一番手前に戻すと、設定されているテンポラリーキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります（バックキュー）。

テンポラリーキューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

❖ CROSSFADER START 機能を使う

1 テンポラリーキューポイントを設定する

再生を開始したい位置で一時停止して、対応するデッキの[CUE]ボタンを押します。

2 クロスフェーダーを動かして、左端または右端の位置にする

フェーダースタートさせたいチャンネルが設定されている側とは反対側の端に設定します。

3 [SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーを左端または右端の位置から逆側に動かす

設定したテンポラリーキューポイントからトラックの再生を始めます。

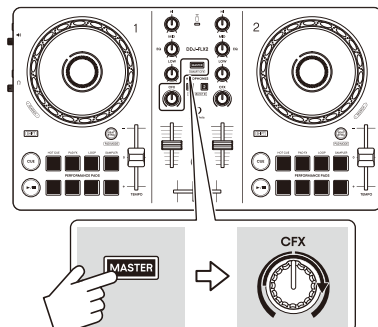
- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーの位置を元の位置に戻すと、設定されているテンポラリーキューポイントに瞬時に戻り、一時停止状態になります（バックキュー）。

テンポラリーキューポイントが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を始めます。

djay Pro for Mac/Windows を使用する

SMART CFX を使う

[CFX]ノブに連動して、曲を盛り上げるために最適な効果を付与することができるエフェクトです。



1 [SHIFT]ボタンを押しながらヘッドホン[CUE]ボタンを押す

SMART CFXの種類が選択されます。

- チャンネル1のヘッドホン[CUE]ボタンを押すとプリセット1（Riser/Stutterタイプ）、チャンネル2のヘッドホン[CUE]ボタンを押すとプリセット2（Hydrant/Landingタイプ）が選択されます。

2 [SHIFT]ボタンを押しながら[MASTER CUE]ボタンを押す

選択中のSMART CFXをオンします。

3 [CFX]ノブを回す

現在再生中の曲にエフェクトがかかります。

[CFX]ノブを回す操作に合わせて、エフェクト音の効果が変化します。

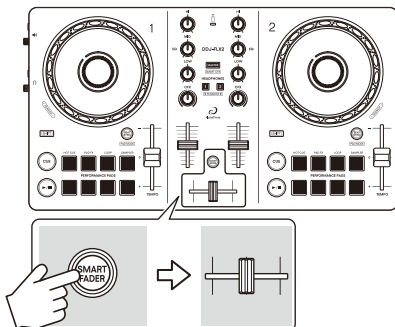
- ノブがセンター位置のときエフェクトはかかりません。

4 もう一度[SHIFT]ボタンを押しながら[MASTER CUE]ボタンを押す

SMART CFXをオフにします。

Crossfader Fusion を使う

クロスフェーダーに連動して、前の曲と次の曲をミックスするために最適な効果を付与することができるエフェクトです。



1 [SMART FADER] ボタンを押す

Crossfader Fusion をオンします。

- **[SHIFT]** を押しながら **[SMART FADER]** ボタンを押すと、エフェクトの種類を切替えることができます。

2 クロスフェーダーを操作する

フェーダー操作に応じて、自動でエフェクトがかかります。

3 もう一度 [SMART FADER] ボタンを押す

Crossfader Fusion をオフにします。

本機の設定を変更する

ユーティリティーモードを起動する

DJ アプリケーションを閉じてからユーティリティーモードを起動させてください。

rekordbox for iOS/Android または rekordbox for Mac/Windows を接続して使用する場合は、rekordbox for iOS/Android および rekordbox for Mac/Windows の設定画面で変更してください。

➡ 「rekordbox for iOS/Android で設定を変更する」 (53 ページ)

➡ 「rekordbox for Mac/Windows で設定を変更する」 (95 ページ)

1 USBケーブルを抜く

2 左側デッキの[SHIFT]ボタンと[▶/|| (再生／一時停止)]ボタンの両方を押しながら、USBケーブルを接続する

ユーティリティーモードが起動します。

3 設定を変更したい項目について本機を操作する

設定を変更すると変更内容が保存されます。設定を保存中は[SMART FADER]ボタンが点滅するので、消灯するまでお待ち下さい。点滅中にUSBケーブルが抜かれると変更内容が保存されない場合があります。

4 USBケーブルを抜いて、本機の電源をオフにする

ユーティリティーモードを終了します。

ユーティリティーモード

ユーティリティーモードでは以下の設定を変更できます。

- バックスピンレングス
- フェーダースタート
- Android MONO/STEREO
- デモモード

❖ バックスピンレングスの設定を変更する

本機はジョグをバックスピン操作した際、実際のジョグの回転量よりも長くバックスピンさせることができます。

バックスピンの長さは、ショート／ノーマル／ロングの3種類から選択できます。

右側デッキのパフォーマンスパッド1～3のいずれかを押す

- パッド1点灯：ショートが設定されます。
- パッド2点灯：ノーマルが設定されます。(初期設定)
- パッド3点灯：ロングが設定されます。

❖ フェーダースタートの設定を変更する

フェーダースタート機能の設定を変更できます。

右側デッキのパフォーマンスパッド5～7のいずれかを押す

- パッド5点灯：SYNC 設定ありのフェーダースタート機能が有効になります。(フェーダースタート開始と同時に SYNC 機能が働きます)
- パッド6点灯：SYNC 設定なしのフェーダースタート機能が有効になります。(フェーダースタート開始時に SYNC 機能は働きません)
- パッド7点灯：フェーダースタート機能は無効になります。

※ Serato DJ Lite 使用時はパッド5が点灯している状態でも SYNC 設定なしのフェーダースタートの動作となります。

❖ Android MONO/STEREO の設定を変更する

Android 端末接続時の音声出力方式を設定します。

ステレオ出力に切替えた後、出力音声が正常にならない場合があります。その際はモノラル出力を選択してください。

左デッキのパフォーマンスパッド8を押す

- パッド8点灯：モノラル出力になります。
- パッド8消灯：ステレオ出力になります。

❖ デモモードの設定を変更する

本機は通常の使用状態で設定された時間内に本機の操作がない場合、デモモードを開始します。

- デモモード開始後、いずれかのノブやボタンを操作すると、デモモードを解除することができます。

左側デッキのパフォーマンスパッド1～4のいずれかを押す

- パッド1点灯：デモモード無効
- パッド2点灯：1分間操作が無いときにデモモードを開始
- パッド3点灯：5分間操作が無いときにデモモードを開始
- パッド4点灯：10分間操作が無いときにデモモードを開始（初期設定）

Bluetooth MIDI デバイス名を変更する

本機を複数台ご使用される場合に、モバイルデバイスから製品を特定できるように設定することができます。

本機とモバイルデバイスを Bluetooth で接続する際、モバイルデバイスに表示される Bluetooth MIDI デバイス名を個別に変更することができます。

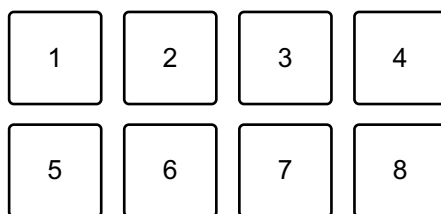
- Bluetooth MIDI デバイス名の表示は本機を起動する毎にリセットされます。

1 本機に電源を供給している機器（USB 電源アダプターや PC/Mac など）から USB ケーブルを抜く

2 左または右デッキのいずれかのパッドを押しながら、本機に電源を供給する機器に USB ケーブルを接続する

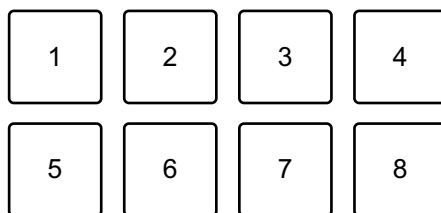
Bluetooth MIDI デバイス名とパフォーマンスパッドの関係は以下のようになっています。

デッキ 1



1 : DDJ-FLX2_1、2 : DDJ-FLX2_2、3 : DDJ-FLX2_3、4 : DDJ-FLX2_4、
5 : DDJ-FLX2_5、6 : DDJ-FLX2_6、7 : DDJ-FLX2_7、8 : DDJ-FLX2_8

デッキ 2



1 : DDJ-FLX2_9、2 : DDJ-FLX2_10、3 : DDJ-FLX2_11、4 : DDJ-FLX2_12、
5 : DDJ-FLX2_13、6 : DDJ-FLX2_14、7 : DDJ-FLX2_15、8 : DDJ-FLX2_16

3 モバイルデバイスと本機を Bluetooth で接続する

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目およびAlphaThetaサポートページへアクセスして、**[DDJ-FLX2]の[よくある質問 (FAQ)]**を確認してください。

alphatheta.com/support/Japan/

また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、「使用上のご注意」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源を入れなおすことで正常に動作することがあります。

電源

❖ 本機の電源が入らない

- USB電源アダプター（モバイルバッテリー）およびUSBケーブルを正しく接続してください。「接続する」（26 ページ）を参照してください。
- USB電源アダプター（モバイルバッテリー）またはUSBケーブルを別のものに交換して確認してください。

❖ 電源が勝手に切れる

- モバイルバッテリーを使用する場合は、省電力機能のないものをお使いください。また、電源電圧がDC +5V、電流供給能力が500 mA以上のものをお使いください。
接続に必要なケーブルは、USB認証品を使用してください。
上記の記載を満たしている、すべてのモバイルバッテリーにおける動作を保証するものではありません。

接続

❖ 本機がPC/Macで認識されない

- 付属のUSBケーブルを正しく接続してください。「接続する」(26 ページ) を参照してください。
- USBハブを使用する場合は、お使いのPC/Macのメーカー推奨製品をご利用ください。
- スクリーンセーバーや常駐ソフトも含め、すべてのアプリケーションを終了してください。(ウイルスセキュリティソフト等を終了する場合は、PC/Mac の安全を確保するためにインターネット接続を切断した状態で確認してください。)
- 外付けハードディスクや、一部機種ではキーボード等を取り外してください。内蔵ハードディスクだけの状態にして、確認してください。
- お使いのPC/Mac にUSB 端子が複数ある場合は、他のUSB 端子で確認してください。
- Macをお使いの場合、macOSのユーティリティソフトウェア**[Audio MIDI 設定]**を起動し、メニューバーの**[ウインドウ] > [オーディオ装置を表示]**で**[DDJ-FLX2 Audio Out]**が表示されるか確認してください。
- Macをお使いの場合、サウンド設定が正しく設定されていない可能性があります。本機と接続しているUSBケーブルを外してから、macOSのユーティリティソフトウェア**[Audio MIDI 設定]**を起動し、**[MIDI ウインドウ]**または**[MIDI スタジオ]**を表示させます。**[DDJ-FLX2]**アイコンを選択してから**[装置を削除]**をクリックします。(アイコンは**[DDJ-FLX2]**ではなく、**[USB MIDI 装置]**になっている場合があります。その場合は**[USB MIDI 装置]**を選択します。) 再度、本機とUSBケーブルで接続すると**[DDJ-FLX2]**アイコンが表示されます。
- Windowsをお使いの場合、**[デバイスマネージャー] > [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー]**下に**[DDJ-FLX2]**が表示されるか確認してください。

❖ USB接続時に本機がモバイルデバイスで認識されない

- USBケーブルを正しく接続してください。「接続する」(26 ページ) を参照してください。
- USBケーブルを別のものに交換して確認してください。
- Lightning端子を持つiPhoneまたはiPadや、Micro USB Type-B端子を持つAndroid端末は、USBケーブルで接続することはできません。Bluetoothで接続してください。

❖ Bluetooth接続できない / Bluetooth接続が途切れる

- 2.4 GHz帯の電磁波を発生する機器(電子レンジ、無線LAN、その他のBluetooth機器など)が近くにある場合は、本機から離して設置するか、それらの機器の使用をお止めください。

- 本機をPC/Macから給電している状態で、モバイルデバイス上のDJソフトウェア*¹を使用する場合、PC/Mac上のDJソフトウェア*²を起動しないでください。PC/Mac上のDJソフトウェアを起動した場合はそのDJソフトウェアを終了し、本機の電源を入れ直してください。

*¹ モバイルデバイス上のDJソフトウェア：rekordbox for iOS/Android、

djay for iOS/Android

*² PC/Mac上のDJソフトウェア：rekordbox for Mac/Windows, Serato DJ Lite、

djay Pro for Mac/Windows

- 接続するモバイルデバイスとの距離が離れている場合は、本機に近づけてください。また、間が壁や障害物等でさえぎられている場合は、モバイルデバイスや本機の位置を変えてください。

音

❖ 音が出ない/音が小さい/音がひずむ

- チャンネルフェーダー、クロスフェーダーおよび[](マスターレベル) ノブを正しい位置に設定してください。「トラックを再生する」(37 ページ) (59 ページ) (78 ページ) (103 ページ) (118 ページ) を参照してください。
- 接続ケーブルを正しく接続してください。「接続する」(26 ページ) を参照してください。
- 端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
- 音声のとぎれる時は、DJソフトウェアのバッファサイズの値を適切に設定してください。

❖ ヘッドホンの音が聞こえない

- [](マスター) 出力端子にヘッドホンが接続されている可能性があります。[](ヘッドホン) 出力端子に接続してください。

rekordbox for iOS/Android

❖ Android 端末接続時、ステレオ出力が正常に行われず、MASTER 出力音声 が 乱れ ヘッドホン 音声 が 無音 になる

- [Android MONO/STEREO] の設定を [STEREO] にしたとき一部の端末では本機と正しく接続されず、正常なステレオ音声 が 出力 が されない 場合があります。その際は [Android MONO/STEREO] の設定を [MONO] にすると正しく出力 できる 場合があります。

❖ Android 端末接続時、[Android MONO/STEREO] の設定を [MONO] にしても正常に 音声 が 出力 されない。または ノイズ が 聞こえる。

- Android 端末の機種によっては接続が正常にできない場合があります。下記サポートまでお問い合わせください。

alphatheta.com/support/Japan/

❖ USB ケーブル 接続 時に モバイル デバイス から 音声 が 出力 されない

- USB ケーブル 接続 時は、モバイル デバイス から 音声 は 出力 され ません。
本機の【】(マスター)】出力端子にパワードスピーカー、パワーアンプなどの機器を接続してください。

❖ Bluetooth 接続 時に 本機 の【】(マスター)】出力端子や【】(ヘッドホン)】出力端子から 音声 が 出力 されない

- Bluetooth 接続 時は、本機 の【】(マスター)】出力端子や【】(ヘッドホン)】出力端子から 音声 を 出力 することが でき ません。モバイル デバイス から 音声 が 出力 され ます。
USB ケーブル で 接続 時は、本機 の【】(マスター)】出力端子や【】(ヘッドホン)】出力端子から 音声 を 出力 することが でき ます。

❖ rekordbox の動作が不安定になる

- rekordbox のバージョンを最新にしてください。「rekordbox for iOS/Android をインストールする」(32 ページ) を参照してください。
- rekordbox 以外のアプリを使用している場合は、そのアプリを終了してください。それでも不安定な状態が続く場合は、ワイヤレスネットワークなどの無線接続、ウイルスセキュリティソフト、省電力モードなどを無効にしてみてください。(ウイルスセキュリティソフト等を終了する場合は、モバイルデバイスの安全を確保するためにインターネット接続を切断した状態で確認してください。)

❖ BPMやビートグリッドが正しく表示されていない/ビートグリッドがずれている

- BPM 解析範囲を変更してから、再度、曲を解析してください。それでも解決しない場合は手動でビートグリッドやBPM を設定してください。

❖ フェーダースタート機能が動作しない

- キューを設定してください。
- フェーダースタートの設定を有効にするためには、rekordbox の[設定]>[DDJ-FLX2]>[フェーダースタート]をオンにしてください。

rekordbox for Mac/Windows

❖ rekordboxの動作が不安定になる

- rekordboxのバージョンを最新にしてください。「rekordbox for Mac/Windowsをインストールする」(71 ページ)を参照してください。
- rekordbox以外のソフトウェアを使用している場合は、そのソフトウェアを終了してください。それでも不安定な状態が続く場合は、ワイヤレスネットワークなどの無線接続、ウイルスセキュリティソフト、スクリーンセーバー、省電力モードなどを無効にしてみてください。(ウイルスセキュリティソフト等を終了する場合は、PC/Macの安全を確保するためにインターネット接続を切断した状態で確認してください。)
- PC/Macに本機以外のUSB機器が接続されている場合は、外してください。
- USBハブを使用する場合は、お使いのPC/Macのメーカー推奨製品をご利用ください。
- ノートパソコンをバッテリーで駆動している場合は、ACアダプターから電源供給してください。

❖ BPMやビートグリッドが正しく表示されていない/ビートグリッドがずれている

- BPM解析範囲を変更してから、再度、曲を解析してください。それでも解決しない場合は手動でビートグリッドやBPMを設定してください。
- ビートグリッドを調整してください。ビートグリッドの調整方法の詳細については、rekordboxの「操作説明書」をご覧ください。

❖ rekordboxを使っているとき再生中の音声がとぎれる

- rekordboxの[環境設定]>[オーディオ]のバッファサイズの値を適切に設定してください。

❖ フェーダースタート機能が動作しない

- キューを設定してください。
- フェーダースタートの設定を有効にするためには、rekordboxの[環境設定]>[コントローラー]の[ミキサー]を選択して[フェーダースタート]のチェックボックスにチェックを入れてください。

Serato DJ Lite

❖ Serato DJ Liteの動作が不安定になる

- Serato DJ Liteのバージョンを最新にしてください。「Serato DJ Liteをインストールする」(97 ページ)を参照してください。
- Serato DJ Lite以外のソフトウェアを使用している場合は、そのソフトウェアを終了してください。それでも不安定な状態が続く場合は、ワイヤレスネットワークなどの無線接続、ウィルスセキュリティソフト、スクリーンセーバー、省電力モードなどを無効にしてみてください。(ウィルスセキュリティソフト等を終了する場合は、PC/Macの安全を確保するためにインターネット接続を切断した状態で確認してください。)
- PC/Macに本機以外のUSB機器が接続されている場合は、外してください。
- USBハブを使用する場合は、お使いのPC/Macのメーカー推奨製品をご利用ください。
- ノートパソコンをバッテリーで駆動している場合は、ACアダプターから電源供給してください。

❖ ライブラリにトラックが表示されない

- ライブラリにトラックがない場合は、音楽ファイルをインポートしてください。インポート方法の詳細については、「トラックをインポートする」(102 ページ)を参照してください。
- トラックが入っていないcrateまたはsubcrateを選んでいる場合は、トラックが入っているcrateまたはsubcrateを選ぶか、crateまたはsubcrateにトラックを追加してください。

❖ ライブラリにiTunesの曲が表示されない

- メニューの[Library + Display]タブの中の[Show iTunes Library]にチェックを入れてください。すでにチェックが入っている場合は、一旦チェックを外してから再度チェックを入れてください。インポート方法の詳細については、Serato DJ Liteのソフトウェアマニュアルをご覧ください。
- トラックが入っていないcrateまたはsubcrateを選んでいる場合は、トラックが入っているcrateまたはsubcrateを選ぶか、crateまたはsubcrateにトラックを追加してください。

❖ Serato DJ Lite のバーチャルデッキが表示されない（プラクティスモード（練習モード）で表示される）

- 付属のUSBケーブルを正しく接続してください。「接続する」（26 ページ）を参照してください。
- Serato DJ Lite のバージョンを最新にしてください。「Serato DJ Lite をインストールする」（97 ページ）を参照してください。

❖ フェーダースタート機能が動作しない

- テンポラリキューを設定してください。
- ユーティリティーモードでフェーダースタートの設定を有効にしてください。「フェーダースタートの設定を変更する」（130 ページ）を参照してください。

❖ BPM が表示されない / SYNC 機能、オートループ機能が動作しない

- **[Analyze Files]** ボタン横の歯車アイコンをクリックし、**[Set BPM]** にチェックを入れてから、曲を解析してください。曲の解析方法についての詳細は、Serato DJ Lite のソフトウェアマニュアルをご覧ください。

❖ BPM が正しく表示されていない

- BPM 解析範囲を変更してから、再度、曲を解析してください。それでも解決しない場合は手動でBPMを設定してください。

❖ クロスフェーダーが効かない

- Serato DJ Lite のクロスフェーダーの設定項目にある **[Disable]** を解除してください。

その他

❖ インジケーターが点滅し、動作がおかしい

- 動作がおかしい、または起動しない場合は、本機からUSB端子のケーブルを抜いて、しばらく経ってから接続し直してください。それでも症状が発生する場合は、修理を依頼してください。

仕様

本体一般

電源	DC 5 V
定格電流	500 mA
本体質量	1.2 kg
最大外形寸法 (W × D × H)	383.2 × 208 × 48.2 mm
許容動作温度	+ 5 °C ~ + 35 °C
許容動作湿度	5 % ~ 85 % (結露のないこと)

オーディオ部

サンプリングレート	44.1 kHz / 48 kHz
D/A コンバーター	16bit / 24bit
周波数特性	

USB 20 Hz ~ 20 kHz

S/N 比 (定格出力時、A-WEIGHTED)

USB 102 dB

全高調波歪率 (20 Hz ~ 20 kHzBW)

USB 0.006 %

出力インピーダンス

MASTER 1 kΩ 以下

 ヘッドホン 10 Ω 以下

定格出力レベル / 負荷インピーダンス

MASTER 1 Vrms/10 kΩ

出力端子

MASTER 出力端子

 3.5 mm ステレオミニジャック 1 系統

ヘッドホン出力端子

 3.5 mm ステレオミニジャック 1 系統

USB 端子

 USB Type-C 1 系統

Bluetooth® 部

無線方式 Bluetooth Low Energy
 最大通信距離 見通しの良い状態で約 10 m*
 使用周波数帯域 2.4 GHz 帯
 変調方式 FH-SS (周波数ホッピングスペクトラム拡散方式)

* 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

他のDJソフトウェアのコントローラーとして使用する

本機は、ボタンやノブなどの操作情報を汎用のMIDI形式でも出力します。MIDI対応のDJソフトウェアをインストールしたPC/MacとUSBケーブルを使って接続すると、本機でDJソフトウェアを操作できます。(DJアプリケーションのMIDIに関する設定を行う必要があります。)

- 詳しくは、お使いのDJソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

MIDIメッセージについて

本機のMIDIメッセージについては、「MIDIメッセージ一覧」をご覧ください。

- 「MIDIメッセージ一覧」は下記のURLより入手できます。

alphatheta.com/support/Japan/

商標および登録商標について

- rekordbox™は、AlphaTheta株式会社の商標または登録商標です。
- Apple、Apple ロゴ、Apple Music、Finder、iPad、iPadOS、iTunes、Mac、MacBook、MacBook Pro、macOS および OS X は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- iOS は、米国その他の国における Cisco の商標または登録商標です。
- Google Play、Google Play ロゴおよび Android は Google LLC の商標です。
- Algoriddim および djay は、Algoriddim GmbH の商標または登録商標です。
- Serato DJ Lite、Serato DJ Intro、Serato DJ Pro、Serato DJ、および Scratch Live は、Serato Limited 社の登録商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

AlphaTheta株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

その他記載されている商品名、技術名および会社名などは、各社の商標または登録商標です。

MP3の利用について

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされており、営利目的での（収益が発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またはその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためには、ライセンスされていません。このような使用には、個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは、<http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。

ソフトウェアのライセンス

Apache

Copyright (c) 2009-2019 ARM Limited. All rights reserved.

SPDX-License-Identifier: Apache-2.0

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the License); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an AS IS BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

BSD

The BSD-3-Clause License

Copyright (c) 2015, Freescale Semiconductor, Inc.

Copyright 2016-2020 NXP

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,

INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

著作権についてのご注意

rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2024 AlphaTheta株式会社

禁無断転載

<DRJ1100-A>